

## IV 調査項目ごとの集計結果

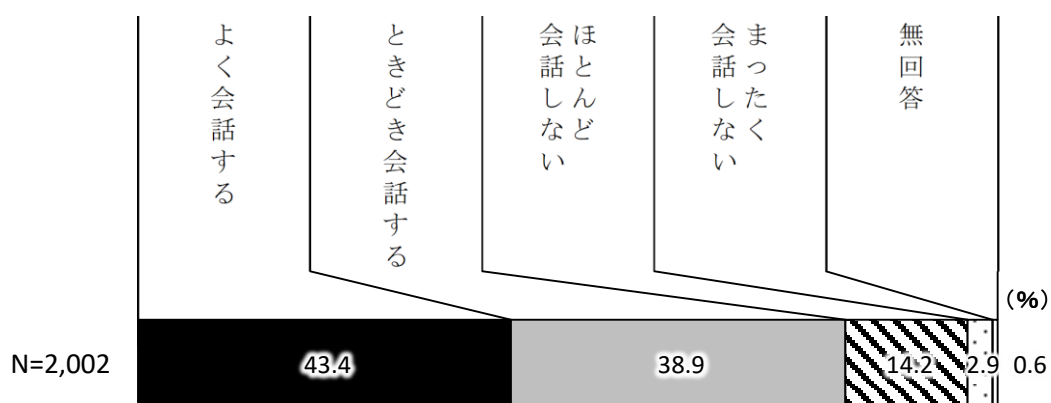
本章では、調査項目ごとの単純集計結果を掲載している。

### 1 地域や人とのかかわりの状況

#### (1) 最近6か月間の家族以外との会話の状況

問 11. 最近6か月間の状況についてお伺いします。家族以外の方とどのくらい会話をしていますか。  
ただし、お店での注文等の会話は除きます(○は1つだけ)

○「よく会話をする」(43.4%)と「ときどき会話をする」(38.9%)とあわせると82.3%と8割を超えている。一方、「ほとんど会話をしない」(14.2%)と「まったく会話をしない」(2.9%)をあわせると17.1%と2割弱となっている。

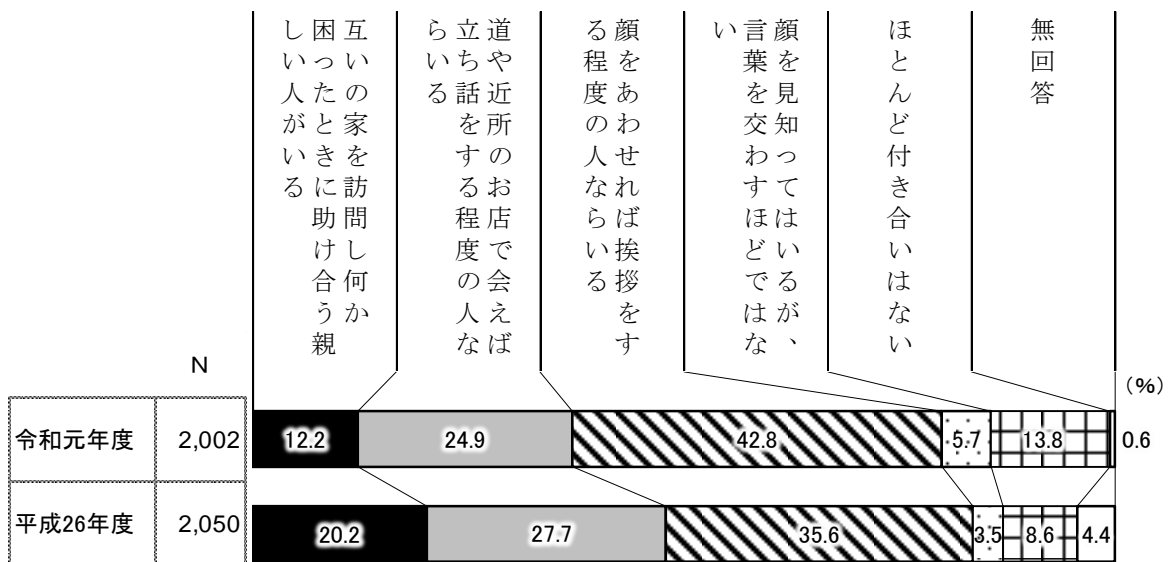


(2) 地域とのかかわりの程度

問 12. あなたは普段、ご近所の人たちとの程度お付き合いをしていますか(○は1つだけ)

○「顔をあわせれば挨拶をする程度の人ならいる」が 42.8%と最も多く、4割強を占めている。次に、「道や近所のお店で会えば立ち話をする程度の人ならいる」が 24.9%と2割台、「互いの家を訪問し何か困ったときに助け合う親しい人がいる」が 12.2%と「ほとんど付き合いはない」は 13.8%とそれぞれ1割台となっている。

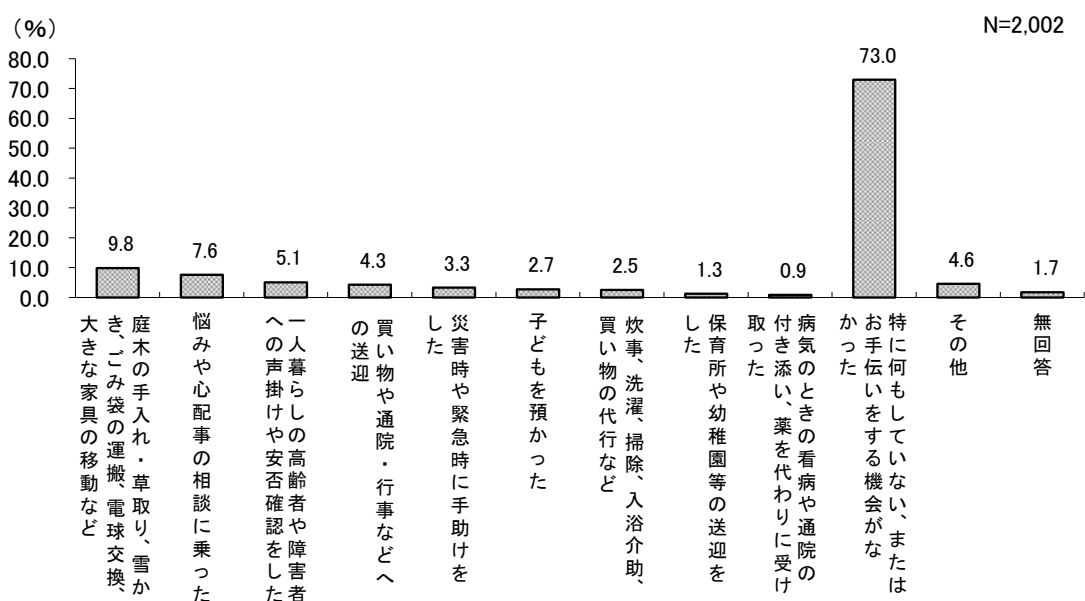
○経年比較でみると、「互いの家を訪問し何か困ったときに助け合う親しい人がいる」と「道や近所のお店で会えば立ち話をする程度の人ならいる」と回答した人を合わせると、平成26年度の 47.9%から 10.8ポイント減少し、37.1%となっている。一方、「ほとんど付き合いはない」は平成26年度の 8.6%から 5.2ポイント増加している。



(3) 地域の人との支え合いの経験

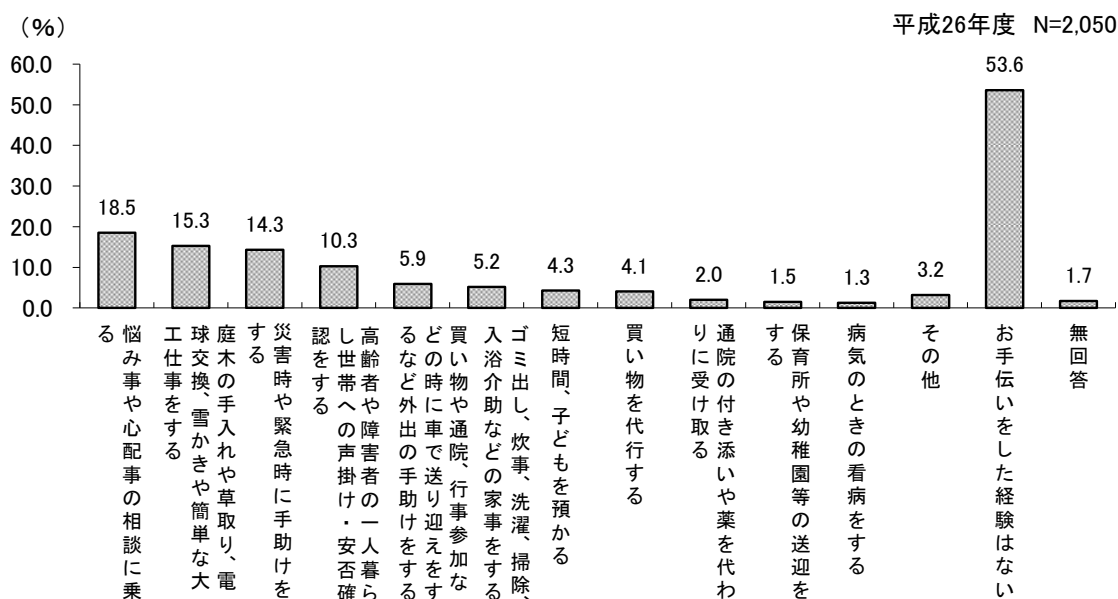
問 13. あなたは過去 1 年間にご近所の人のお手伝いをしたことはありますか  
(現在、お手伝いをしている場合を含む)(〇はいくつでも)

○「特に何もしていない、またはお手伝いをする機会がなかった」が 73.0%と 7 割を超えている。手助け・手伝いをした経験がある人では、「庭木の手入れや草取り、雪かき、ゴミ袋の運搬、電球交換、大きな家具の移動など」が 9.8%と最も多い。以下、「悩みや心配事の相談に乗った」(7.6%)、「一人暮らしの高齢者や障害者への声掛けや安否確認をした」(5.1%)、「買い物や通院、行事などへの送迎」(4.3%)が続いている。



参考：平成 26 年度調査

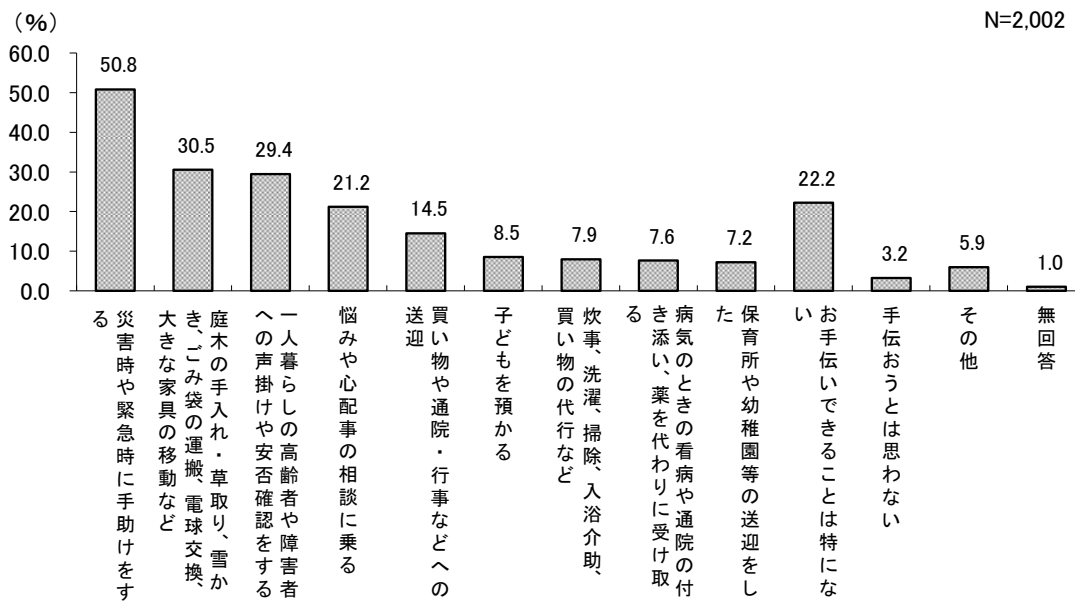
平成 26 年度も同様の設問を設けたが、選択肢が異なるため、参考値となる。



(4) 地域の人に対して今後協力できること

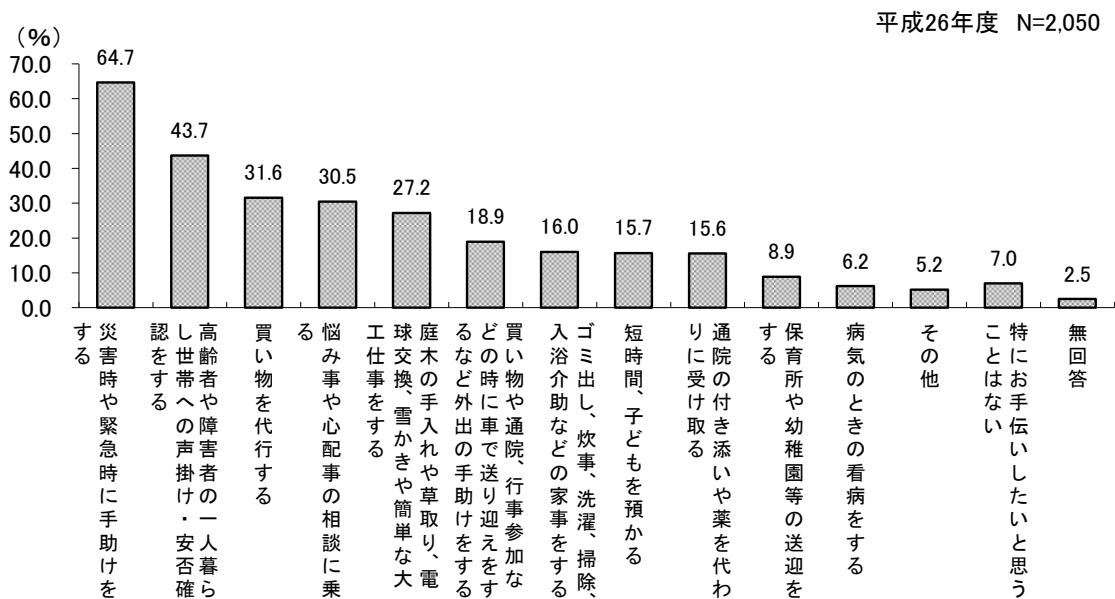
問 14. ご近所の人困っているときに、手助けしたり、お手伝いしたり、あなたができることはありますか(〇はい/×でも)

○「災害時や緊急時に手助けをする」が50.8%と5割を超えて最も多く、以下、「庭木の手入れや草取り、雪かき、ごみ袋の運搬、電球交換、大きな家具の移動など」(30.5%)、「一人暮らしの高齢者や障害者への声掛けや安否確認をする」(29.4%)、「悩みや心配事の相談に乗る」(21.2%)が続いている。



参考：平成 26 年度調査

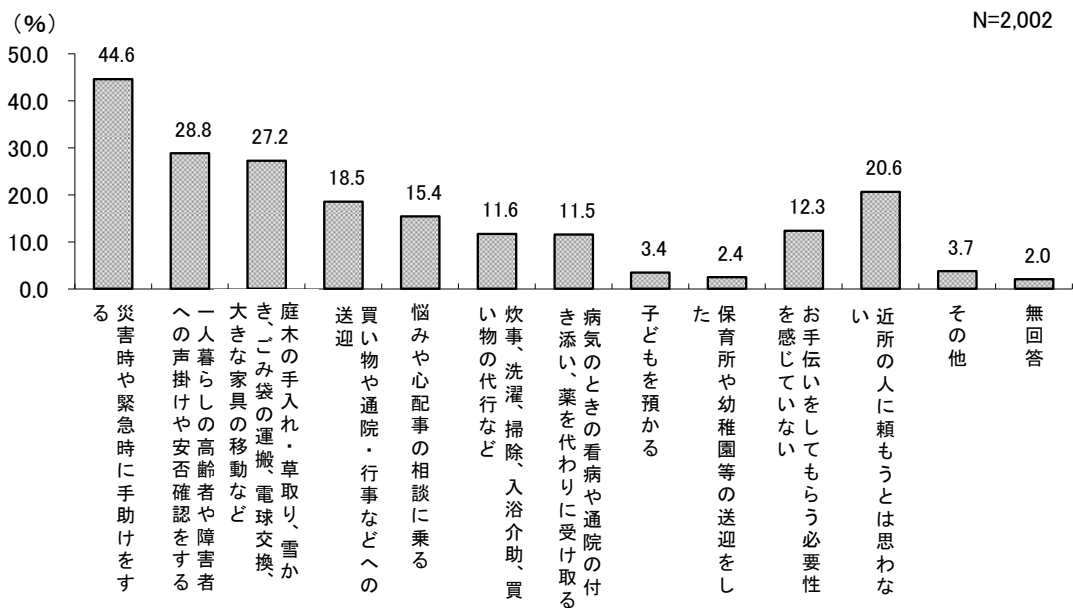
平成 26 年度も同様の設問を設けたが、選択肢が異なるため、参考値となる。



(5) 地域の人から今後協力してもらいたいこと

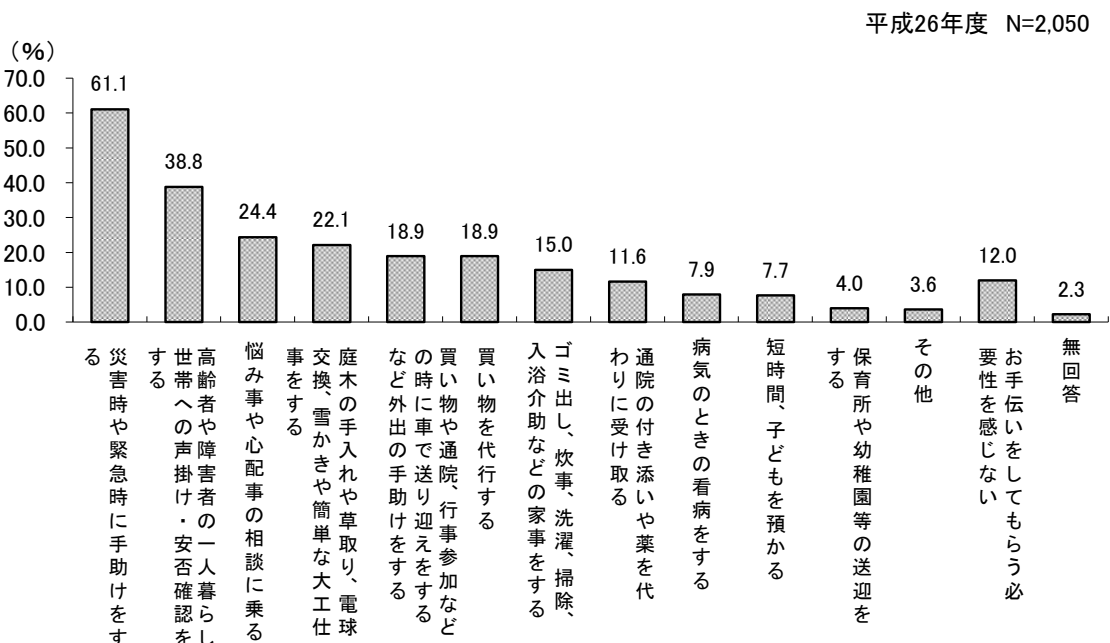
問 15. あなたやあなたの家族が高齢になったり、病気や事故で日常生活が不自由になったりしたとき、あなたはご近所の人にどのようなお手伝いをして欲しいですか(現在、手伝ってもらっている場合を含む) (〇はいくつでも)

○「災害時や緊急時に手助けをする」が44.6%と4割を超えて最も多く、以下、「一人暮らしの高齢者や障害者への声掛けや安否確認をする」(28.8%)、「庭木の手入れや草取り、雪かき、ごみ袋の運搬、電球交換、大きな家具の移動など」(27.2%)が続いている。  
一方、「近所の人に頼もうとは思わない」との回答も20.6%ある。

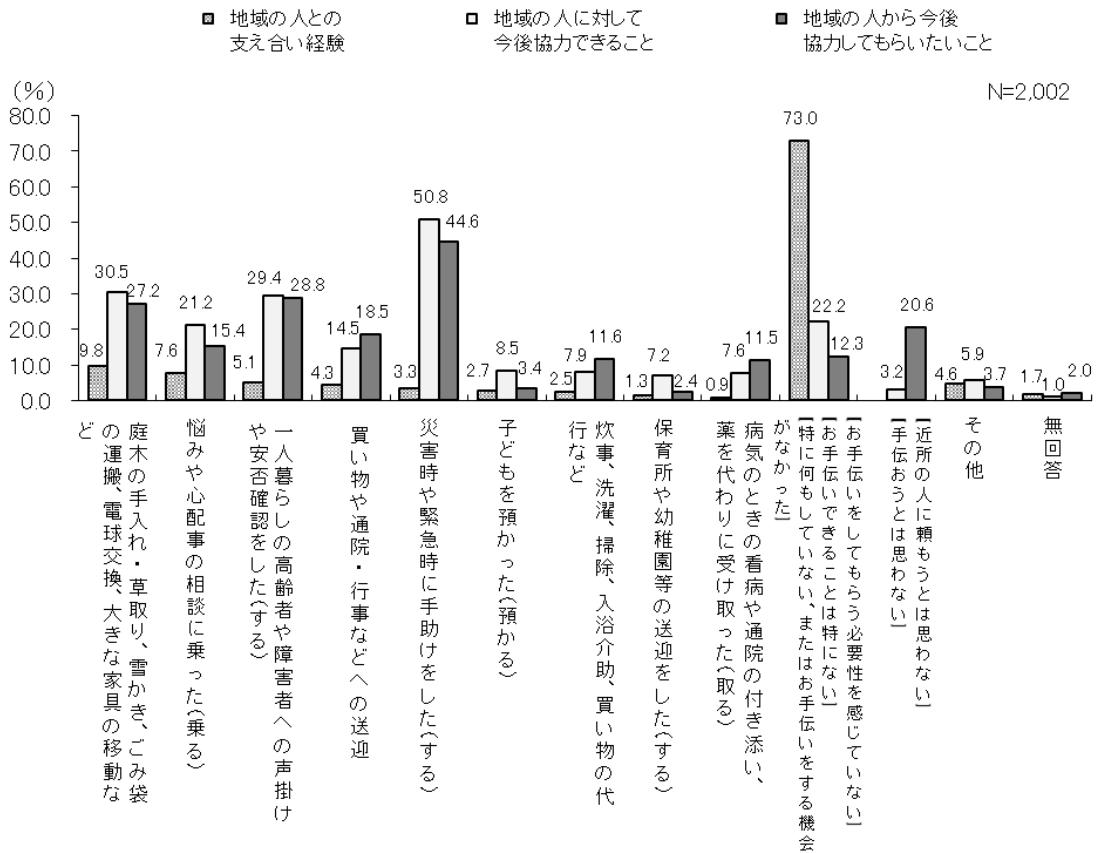


参考：平成26年度調査

平成26年度も同様の設問を設けたが、選択肢が異なるため、参考値となる。



参考： 〔 問 13. 地域の人との支え合いの経験 〕 比較  
 〔 問 14. 地域の人に対して今後協力できること 〕  
 〔 問 15. 地域の人から今後協力してもらいたいこと 〕

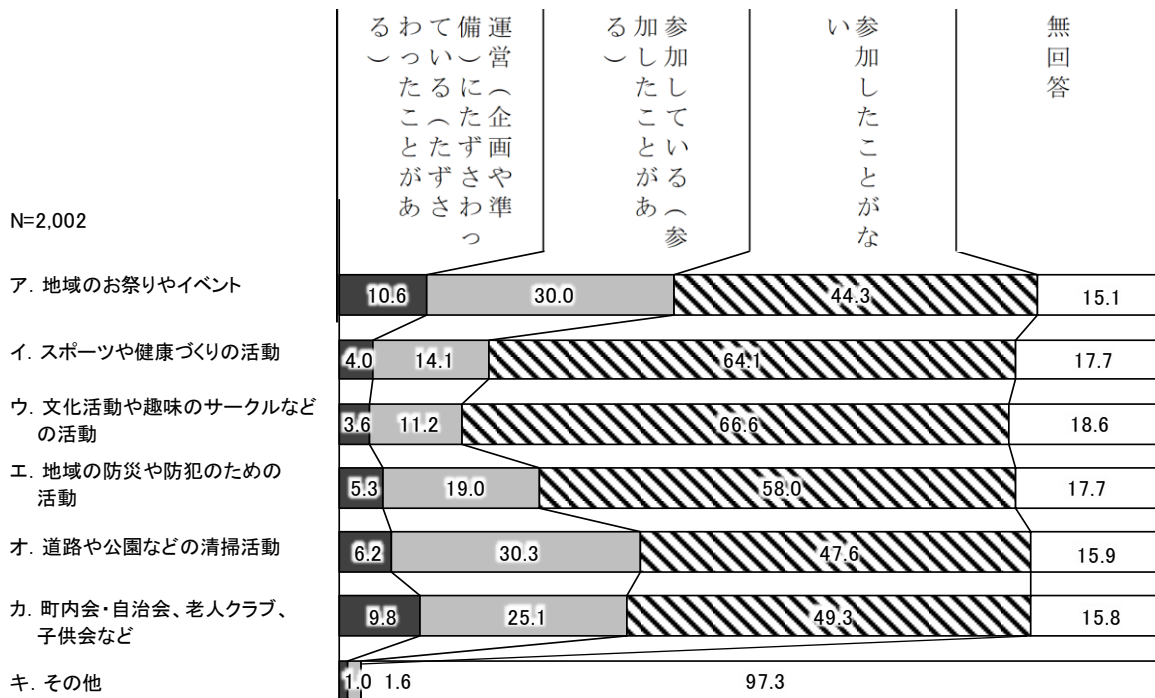


	問 13. 地域の人との支え合いの経験	問 14. 地域の人に対して今後協力できること	問 15. 地域の人から今後協力してもらいたいこと
1位	庭木の手入れや草取り、雪かき、玄関先に出されたごみ袋の集積所までの運搬など家周りのことや、電球交換や大きな家具の移動など家の中の簡単な手伝いをした 9.8%	災害時や緊急時に手助けをする 50.8%	災害時や緊急時に手助けをする 44.6%
2位	悩みや心配事の相談に乗った 7.6%	庭木の手入れや草取り、雪かき、玄関先に出されたごみ袋の集積所までの運搬など家周りのことや、電球交換や大きな家具の移動など家の中の簡単な手伝いをする 30.5%	一人暮らしの高齢者や障害者への声掛けや安否確認をする 28.8%
3位	一人暮らしの高齢者や障害者への声掛けや安否確認をした 5.1%	一人暮らしの高齢者や障害者への声掛けや安否確認をする 29.4%	庭木の手入れや草取り、雪かき、玄関先に出されたごみ袋の集積所までの運搬など家周りのことや、電球交換や大きな家具の移動など家の中の簡単な手伝いをする 27.2%
4位	買い物や通院、行事への参加のときなどに、車で送迎など外出の手助けをした 4.3%	悩みや心配事の相談に乗る 21.2%	買い物や通院、行事への参加のときなどに、車で送迎など外出の手助けをする 18.5%
5位	災害時や緊急時に手助けをした 3.3%	買い物や通院、行事への参加のときなどに、車で送迎など外出の手助けをする 14.5%	悩みや心配事の相談に乗る 15.4%

(6) 地域活動への運営・参加経験

問16. あなたは現在または過去1年以内に、お住まいの地域(おおむね町内会～中学校区)の次のような活動の運営にたずさわったり、参加したりしていますか。また、参加してみたい活動はありますか。ア～キの項目ごとに、1～3のうち最もあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください(項目ごとに○は1つ)

○「運営(企画や準備)にたずさわっている(たずさわったことがある)」と「参加している(参加したことがある)」とあわせると4割を超えて最も多かったのが、「地域のお祭りやイベント」(40.6%)となっている。以下、「道路や公園などの清掃活動」(36.5%)、「町内会・自治会、老人クラブ、子供会など」(34.9%)、「地域の防災や防犯のための活動」(24.3%)、「スポーツや健康づくりの活動」(18.1%)、「文化活動や趣味のサークルなどの活動」(14.8%)となっている。

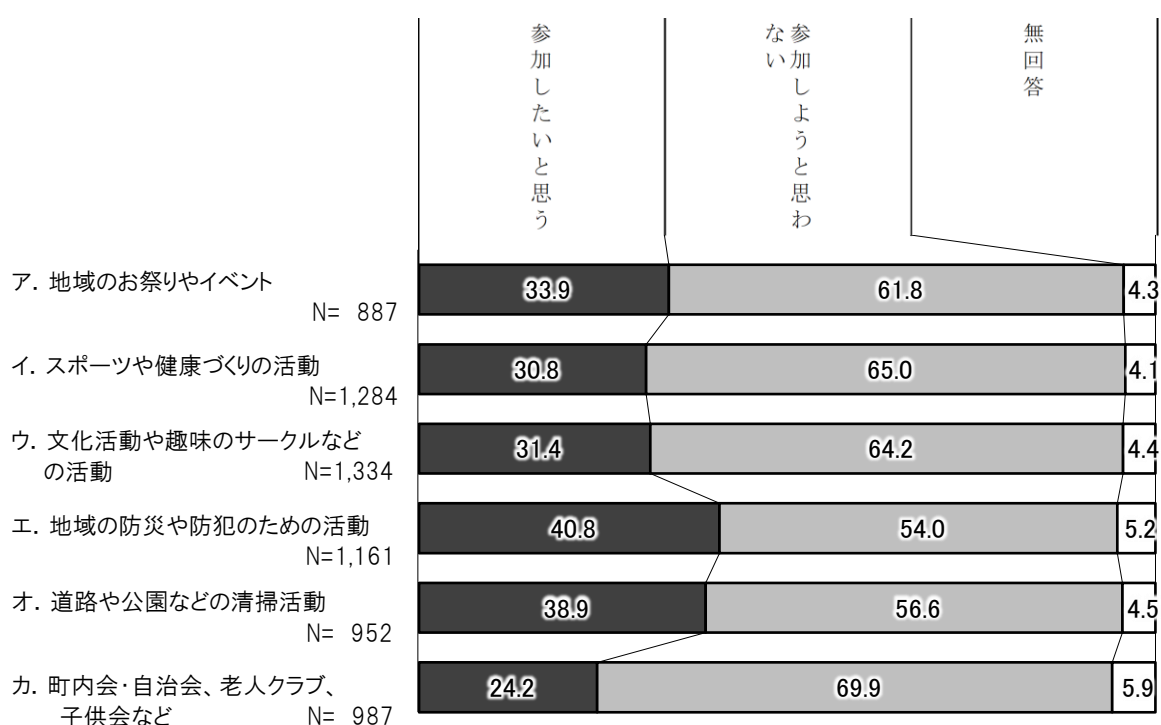


※“キ.その他”は「参加したことがない」の選択肢がないため、数字が表記されていません。

## (7) 地域活動への参加意向

問 16-付 1. 「3. 参加したことがない」を選んだ方に伺います。今後の参加について、a、b どちらか 1 つに○をつけてください

○「参加したいと思う」が4割を超えて最も多かったのが、“地域の防災や防犯のための活動” (40.8%) となっている。以下、“道路や公園などの清掃活動” (38.9%)、“地域のお祭りやイベント” (33.9%)、“文化活動や趣味のサークルなどの活動” (31.4%)、“スポーツや健康づくりの活動” (30.8%)、“町内会・自治会、老人クラブ、子供会など” (24.2%) となっている。





## (8) 地域の活動について「こんな活動があれば参加したい」と思うもの

問 16-付 2. 「こんな活動があれば参加したい」と思うものがあればお書きください

- 地域の活動について「こんな活動があれば参加したい」と思うものについての自由意見を取りまとめたところ、221 名から 251 件の意見を得た。意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。

分 類	意見数計	運営にた	参加して	参加した	参加状況
		ずさわっ	ている	ことがな	不明(無
		ている		い	回答)
<b>総意見数</b>	<b>251</b>	<b>50</b>	<b>123</b>	<b>59</b>	<b>19</b>
1 スポーツ・健康づくり活動	47	12	22	8	5
2 勉強会・サークル(パソコン、歴史、英会話等)	29	7	13	6	3
3 料理関連活動(料理教室、芋煮、バーベキューなど)	21	10	7	2	2
4 子どもが参加できる活動	17	1	13	2	1
5 ボランティア・清掃活動・緑化活動	17	0	8	5	4
6 お祭り・パーティー・交流会	16	4	6	6	0
7 防災活動・防犯活動	12	1	8	2	1
8 高齢者が参加できる活動	12	2	4	5	1
9 音楽関連活動(音楽会、カラオケ等)	11	3	7	1	0
10 バザー・フリーマーケット等	9	0	6	3	0
11 茶話会・会話	8	3	5	0	0
12 ゲーム・レクリエーション	8	0	6	1	1
13 映画・スポーツ鑑賞	3	1	2	0	0
14 条件が整えば参加したい	13	1	3	9	0
15 参加したくない(参加は考えていない)	6	1	2	3	0
16 その他	22	4	11	6	1

以下に主な意見を抜粋する。

※各意見の文末の ( ) 内は、(性別・年齢・問 16 回答状況)。

## ① スポーツ・健康づくり活動

- ◆ ヨガ、ピラティスなどのやさしい健康的なスポーツ。(女性 30 歳代 運営にたずさわっている)
- ◆ 地域対抗の運動会球技大会。(男性 40 歳代 参加している)
- ◆ 朝のラジオ体操。(女性 30 歳代 参加している)
- ◆ ゴルフコンペ。(男性 60 歳代 参加したことがない)

## ② 勉強会・サークル（パソコン、歴史、英会話等）

- ◆ 歴史をたずねてみる。（女性 70 歳代 運営にたずさわっている）
- ◆ 親子ともに日常英会話をする機会に協力したい。（女性 50 歳代 参加している）
- ◆ 文化交流〔趣味（歴史／英語／音楽／旅行／会話…）〕。（男性 70 歳代 参加したことがない）

## ③ 料理関連活動（料理教室、芋煮、バーベキューなど）

- ◆ みんなで食事しながら楽しめる活動（餅つき、芋煮、炊き出し）。（女性 30 歳代 運営にたずさわっている）
- ◆ お料理教室、宮城の郷土料理の伝承。（女性 40 歳代 参加している）
- ◆ バーベキュー大会。（男性 40 歳代 参加したことがない）

## ④ 子どもが参加できる活動

- ◆ 子どもとお年寄りが交流できる活動。（女性 60 歳代 運営にたずさわっている）
- ◆ 子どもたちの活動を支援する活動。（男性 70 歳代 参加している）
- ◆ 子育てしている人のためのサークルなど。（女性 20 歳代 参加したことがない）

## ⑤ ボランティア・清掃活動・緑化活動

- ◆ ちょこっとボランティアのような気軽にできることをすること。（女性 60 歳代 参加している）
- ◆ 河原のゴミ拾い。（男性 40 歳代 参加している）
- ◆ 町内会でなく、市主導による地域清掃活動。（男性 60 歳代 参加したことがない）

## ⑥ お祭り・パーティー・交流会

- ◆ 夏の盆おどりがしたい。昔は、私の生まれた町ではやっていたので、なつかしいなと思い、やってみたい…。（女性 40 歳代 運営にたずさわっている）
- ◆ まずはマンション内の交流会。（男性 40 歳代 参加している）
- ◆ 宝くじまつり。（女性 20 歳代 参加したことがない）

## ⑦ 防災活動・防犯活動

- ◆ 簡易便器の作り方。発電方法（停電時の）。（男性 70 歳代 運営にたずさわっている）
- ◆ 地域の防災活動に参加した時は、とても有意義だったので、また参加したいと思いました。（171 ダイヤルの使い方や、消火器の使い方を教えて頂きました。）（女性 40 歳代 参加している）
- ◆ 詳細な事を含めた防災訓練（町内会など多くの人をまきこんでどう逃げるか、どこなら収容可能かを全員で参加し、実際に集まる）。（男性 20 歳代 参加したことがない）

## ⑧ 高齢者が参加できる活動

- ◆ 高齢者の体力作りの行事。（男性 60 歳代 運営にたずさわっている）
- ◆ 中高年向けのスマホ教室、高齢化に向けてのやりくりや施設の紹介等を講座の様にして分かりやすく教えてくれるもの。（女性 60 歳代 参加している）
- ◆ 魚釣りの基本的な事とか、高齢者の球技など。（男性 60 歳代 参加したことがない）

## ⑨ 音楽関連活動（音楽会、カラオケ等）

- ◆ 音程を気にしなくとも歌えるサークル。（性別・年齢不明 運営にたずさわっている）
- ◆ カラオケ教室。（女性 70 歳代 参加している）
- ◆ 音楽発表会のようなもの。（男性 20 歳代 参加したことがない）

## ⑩ バザー・フリーマーケット等

- ◆ バザー、フリマ等。（男性 20 歳代 参加している）
- ◆ 手作り市などがあれば出店してみたい。（女性 30 歳代 参加したことがない）

## ⑪ 茶話会・会話

- ◆ おしゃべりできる場所。（女性 70 歳代 運営にたずさわっている）
- ◆ 引越して1年ほどたつが、最近の人の顔・名前が分からないので、集まってお茶会等、立ち話してみたい（防犯対策にもなる）。（女性 30 歳代 参加している）

## ⑫ ゲーム・レクリエーション

- ◆ 健康マージャン教室の開催と運営。（男性 70 歳代 参加している）
- ◆ 町内会の旅行。（男性 60 歳代 参加している）

## ⑬ 映画・スポーツ鑑賞

- ◆ ベガルタや楽天など。（男性 30 歳代 参加している）
- ◆ 映画観賞など。（女性 30 歳代 参加している）

## ⑭ 条件が整えば参加したい

- ◆ 今のところ参加したいと思いますが老人介護のため時間的に余裕がありません。（女性 70 歳代 運営にたずさわっている）
- ◆ 個人単位でできることがあれば、やりたい。（男性 60 歳代 参加している）
- ◆ 仕事をやめたら、いろいろ参加したいと思います。（女性 50 歳代 参加したことがない）
- ◆ 具体的には分からないが、健常者と障害者が一緒に障害者の負担にならないようなものであれば参加出来ると思います。（男性 40 歳代 参加したことがない）

## ⑮ 参加したくない（参加は考えていない）

- ◆ 町内会の役員にされるので関わりたくない。子供会入会が強制でした（小学校の運動会・プールに入れなくなると言われ、断れない仕組みになっている）。（女性 40 歳代 運営にたずさわっている）
- ◆ どの活動も古くからいる高齢の方の意見しか通らないので義務がないかぎり、参加しない。その為若い人は皆、不参加。（女性 40 歳代 参加している）

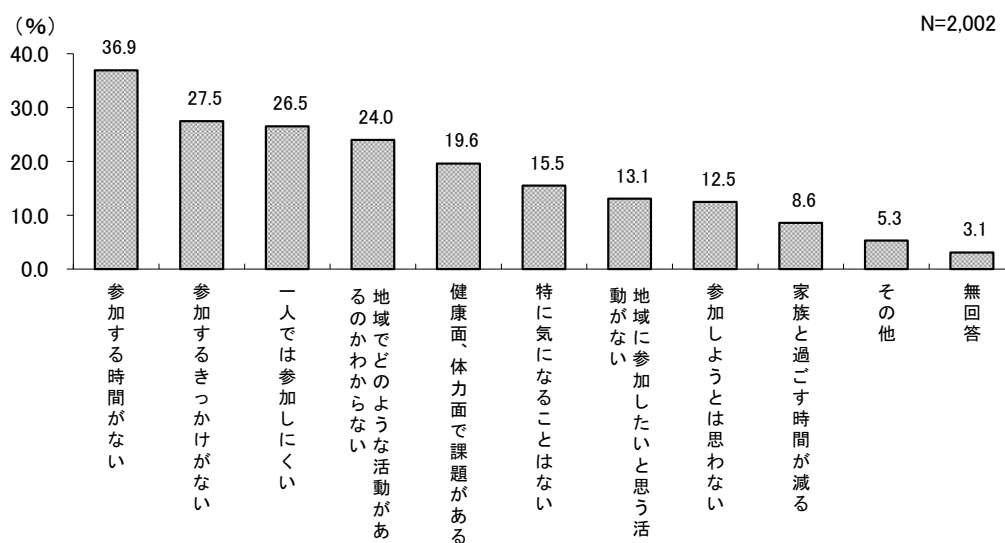
## ⑯ その他

- ◆ 世代を超えた地域組織活動に参加したいです。（男性 50 歳代 運営にたずさわっている）
- ◆ 行政の関わりが最小限で、若手主導の活動。（男性 20 歳代 参加している）
- ◆ 畑を皆で作る。（女性 30 歳代 参加している）

(9) 地域活動への参加にあたっての課題

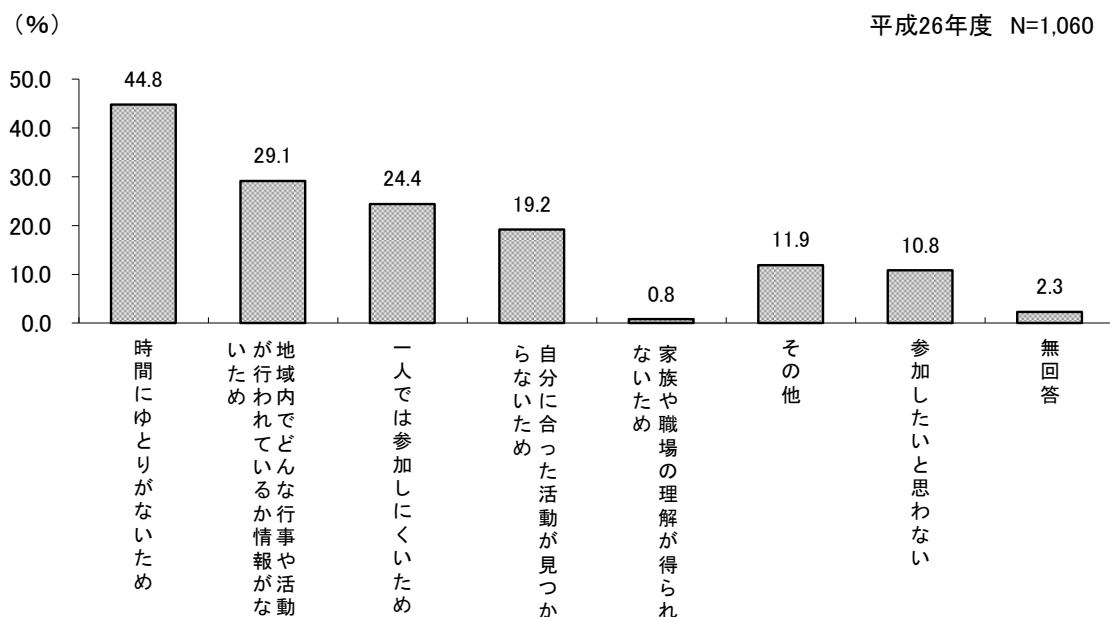
問 17. あなた自身が地域の活動に参加するときに課題となることはありますか(○はい/×でも)

○「参加する時間がない」が36.9%と3割を超えて最も多く、以下、「参加するきっかけがない」(27.5%)、「一人では参加しにくい」(26.5%)、「地域でどのような活動があるのかわからない」(24.0%)が続いている。



参考：平成26年度調査

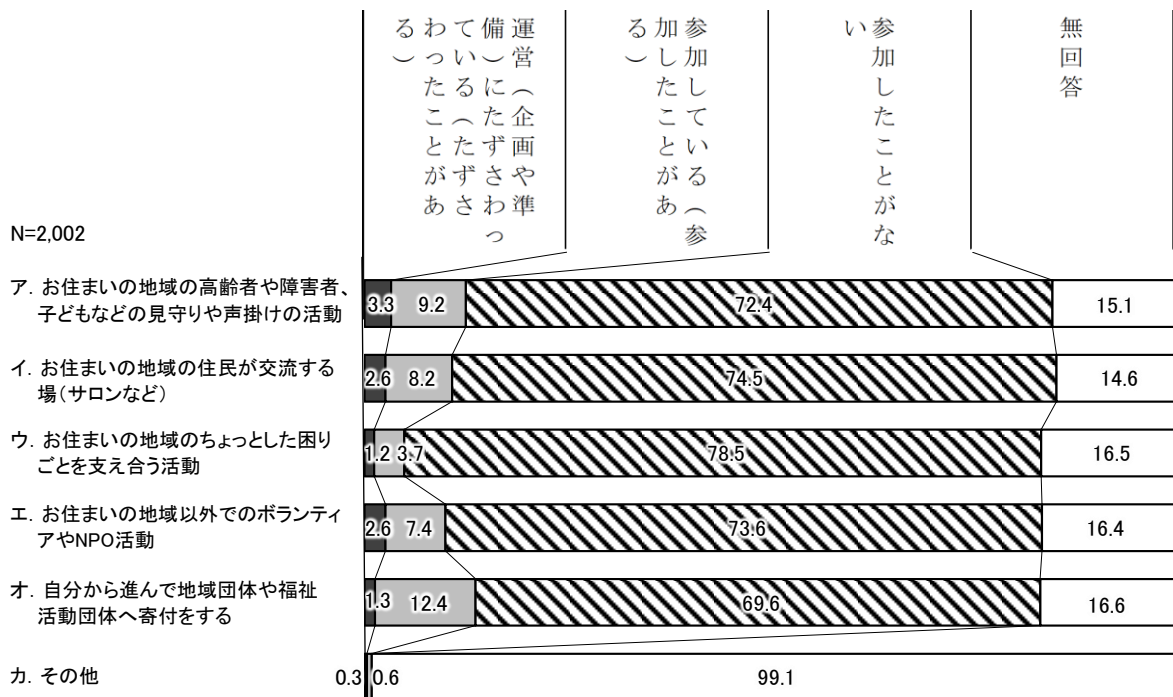
平成26年度も同様の設問を設けたが、選択肢が異なるため、参考値となる。



(10) 福祉活動への運営・参加経験

問 18. あなたは、現在または過去 1 年以内に何らかの福祉活動の運営にたずさわったり、参加したりしていますか。また、参加してみたい活動はありますか。ア～カの項目ごとに、1～3のうち最もあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。※選択肢中「お住まいの地域」とある場合は、おおむね町内会～中学校区の範囲内でお考えください(項目ごとに○は1つ)

○「運営（企画や準備）にたずさわっている（たずさわったことがある）」と「参加している（参加したことがある）」をあわせると最も多かったのが、“自分から進んで地域団体や福祉活動団体へ寄付をする”（13.7%）となっている。以下、“お住まいの地域の高齢者や障害者、子どもなどの見守りや声掛けの活動”（12.5%）、“お住まいの地域の住民が交流する場（サロンなど）”（10.8%）、“お住まいの地域以外でのボランティアや NPO 活動”（10.0%）、“お住まいの地域のちょっとした困りごとを支え合う活動”（4.9%）が続いている。

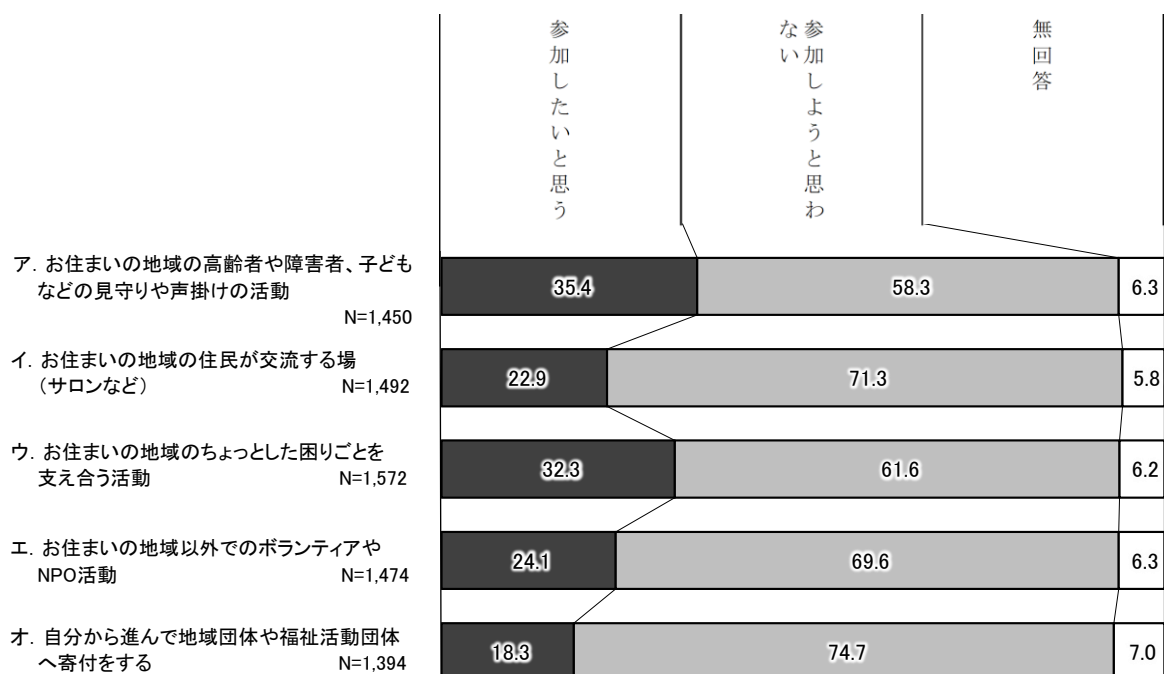


※“カ.その他”は「参加したことがない」の選択肢がないため、数字が表記されていません。

## (11) 福祉活動への参加意向

問 18-付 1. 「3. 参加したことがない」を選んだ方に伺います。今後の参加について、a、b どちらか 1 つに○をつけてください

○「参加したいと思う」が 3 割を超えて多かったのが、“お住まいの地域の高齢者や障害者、子どもなどの見守りや声掛けの活動” (35.4%)、“お住まいの地域のちょっとした困りごとを支え合う活動” (32.3%) となっている。以下、“お住まいの地域以外でのボランティアや NPO 活動” (24.1%)、“お住まいの地域の住民が交流する場 (サロンなど)” (22.9%)、“自分から進んで地域団体や福祉活動団体へ寄付をする” (18.3%) となっている。



## (12) 福祉活動について「こんな活動があれば参加したい」と思うもの

問 18-付 2. 「こんな活動があれば参加したい」と思うものがあればお書きください

- 福祉活動について「こんな活動があれば参加したい」と思うものについての自由意見を取りまとめたところ、95名から、96件の意見を得た。意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。

分 類	意見数計	運営にた	参加してい	参加したこ	参加状況
		ずさわって	る	とがない	不明(無回
		いる			答)
<b>総意見数</b>	<b>96</b>	<b>14</b>	<b>31</b>	<b>44</b>	<b>7</b>
1 子育て支援・子ども支援	22	1	10	10	1
2 地域住民と交流できる活動	22	7	6	6	3
3 ボランティア・清掃活動・緑化活動	7	1	4	2	0
4 防災活動・防犯活動	4	0	1	3	0
5 参加時間や負担にならない活動	4	0	1	2	1
6 有償やポイント制の導入	4	0	1	3	0
7 動物保護活動	3	0	1	2	0
8 外出支援・買い物代行等	3	0	1	1	1
9 条件が整えば参加したい	8	2	2	4	0
10 参加したくない(参加は考えていない)	6	1	0	5	0
11 その他	13	2	4	6	1

以下に主な意見を抜粋する。

※各意見の文末の（ ）内は、(性別・年齢・問 18 回答状況)。

## ① 子育て支援・子ども支援

- ◆ たまに、赤ちゃんや小さな子の中に入ってみたい。だっこしたい。(女性 70 歳代 運営にたずさわっている)
- ◆ 子どもの見守り活動。(男性 40 歳代 参加している)
- ◆ 子育て支援(送迎、読み聞かせ活動)(女性 50 歳代 参加している)

## ② 地域住民と交流できる活動

- ◆ 組織、グループに属さず、気軽にフラッと立ち寄り、茶のみ話、趣味に興じられる場所があったら……。 (女性 70 歳代 運営にたずさわっている)
- ◆ 高齢者の方で、茶道や華道をされていた方に教わりたい。(女性 40 歳代 参加している)
- ◆ 町内会の活動がほぼ無いので…何か楽しいお祭り。(女性 10 歳代 参加したことがない)

## ③ ボランティア・清掃活動・緑化活動

- ◆ 空地や空き家がたくさんあり、荒れている。ゴミひろいや草取りなど1人でやることもあるけど、何人かでやれると負担が少なくていい。(男性 60歳代 運営にたずさわっている)
- ◆ 災害時ボランティア。(男性 60歳代 参加している)
- ◆ 地域全世帯の道路清掃。(男性 60歳代 参加したことがない)

## ④ 防災活動・防犯活動

- ◆ 夜間の町内パトロール。(男性 60歳代 参加している)
- ◆ 災害避難訓練。(男性 50歳代 参加したことがない)

## ⑤ 参加時間や負担にならない活動

- ◆ 土日以外の夜間なら参加可能。(女性 60歳代 参加している)
- ◆ 1時間以内で終わるような活動。時間が元々ないので、このくらいのもが必要。(男性 20歳代 参加したことがない)

## ⑥ 有償やポイント制の導入

- ◆ ボランティアなど参加したらポイントがつけばいいと思います。(男性 30歳代 参加している)
- ◆ 参加して報酬がもらえるなら参加したい。(女性 30歳代 参加したことがない)

## ⑦ 動物保護活動

- ◆ 地域ネコの保護活動。(女性 50歳代 参加している)
- ◆ 動物にかかわる活動。(女性 30歳代 参加したことがない)

## ⑧ 外出支援・買い物代行等

- ◆ 入院患者の方々が選挙の際の投票に関して困っておられる様です。何か方法があれば手助けしたい。(女性 60歳代 参加している)
- ◆ 外出の同行。(女性 50歳代 参加状況不明)

## ⑨ 条件を整えば参加したい

- ◆ 妹や弟に頼りませんので、みなさんで住まいや生活のサポートの会があれば参加したい。(女性 60歳代 運営にたずさわっている)
- ◆ 興味があれば参加したいが、どんな活動があり、いつ実施しているのか分からない。(男性 60歳代 参加している)
- ◆ 定期的に告知があれば参加できることもあるのと思います。(女性 40歳代 参加したことがない)

## ⑩ 参加したくない(参加は考えていない)

- ◆ ボランティアに参加するしないは自由だ。特に興味はない。(女性 30歳代 運営にたずさわっている)
- ◆ 地域の人との付き合いが難しいので参加したいとは思いません。(女性 60歳代 参加したことがない)

## ⑪ その他

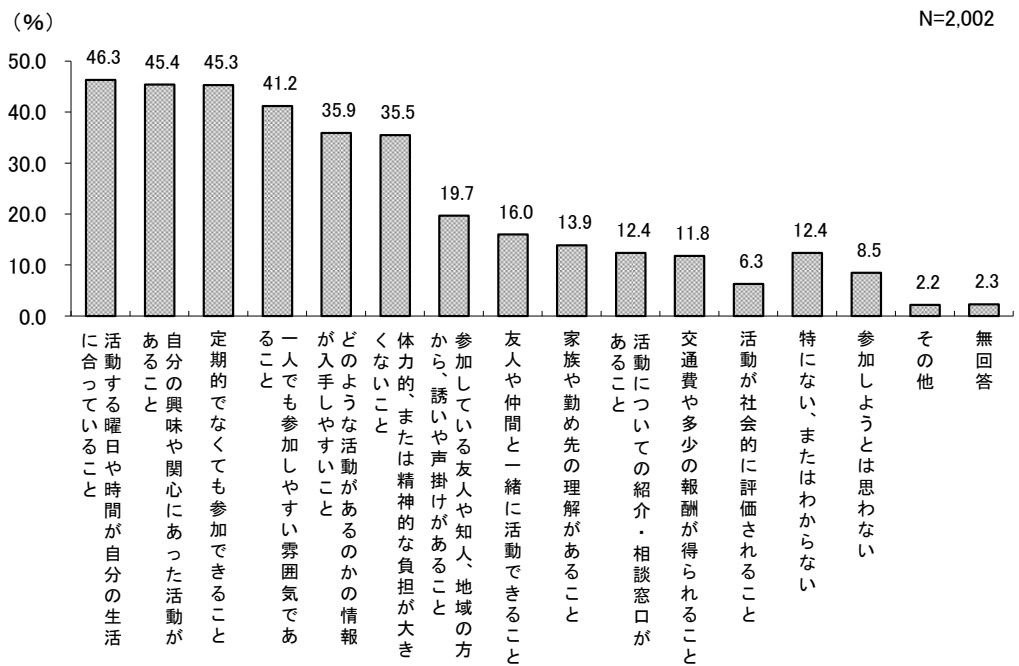
- ◆ 傾聴。(女性 60歳代 参加している)
- ◆ 職場の地域で参加できる取り組み。(仕事の一部)居住区でのボランティアは負担を感じる。(女性 40歳代 参加したことがない)



(13) 地域活動や福祉活動に参加しやすくなる取り組み

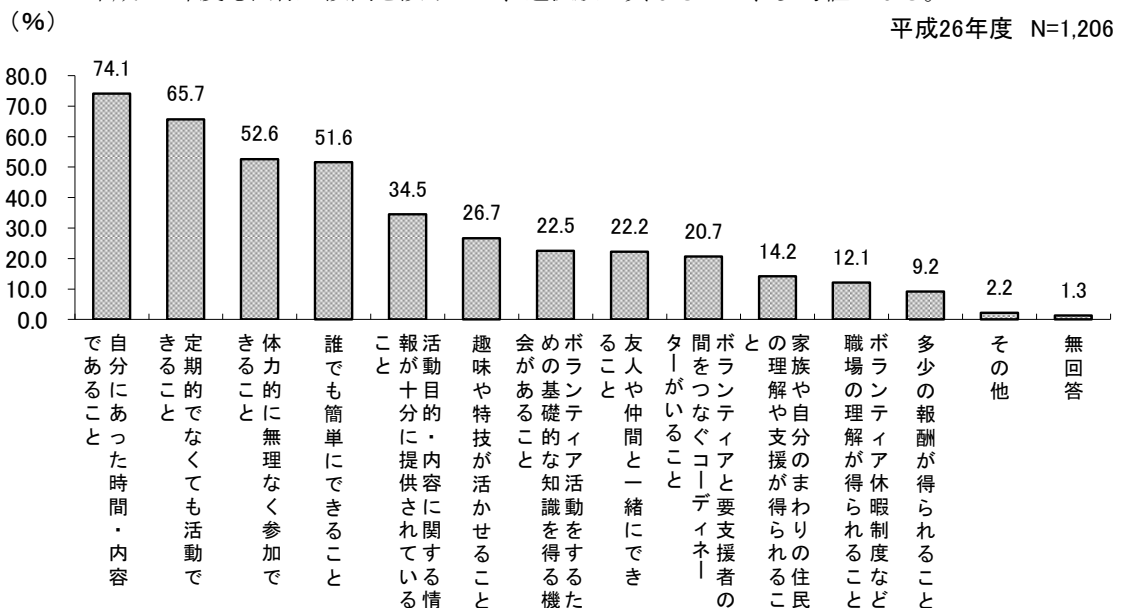
問 19. あなたは、どのようなことがあれば地域活動や福祉活動に参加しやすくなると思いますか  
(〇はいくつでも)

○「活動する曜日や時間が自分の生活に合っていること」が 46.3%と最も多く、以下、「自分の興味や関心にあった活動があること」(45.4%)、「定期的でなくても参加できること」(45.3%)、「一人でも参加しやすい雰囲気であること」(41.2%)、「どのような活動があるのかの情報が入りやすいこと」(35.9%)、「体力的、または精神的な負担が大きいこと」(35.5%)、「参加している友人や知人、地域の方から、誘いや声掛けがあること」(19.7%)、「友人や仲間と一緒に活動できること」(16.0%)、「家族や勤め先の理解があること」(13.9%)、「活動についての紹介・相談窓口があること」(12.4%)、「交通費や多少の報酬が得られること」(11.8%)、「活動が社会的に評価されること」(6.3%)、「特にない、またはわからない」(12.4%)、「参加しようとは思わない」(8.5%)、「その他」(2.2%)、「無回答」(2.3%)



参考：平成 26 年度調査

平成 26 年度も同様の設問を設けたが、選択肢が異なるため、参考値となる。

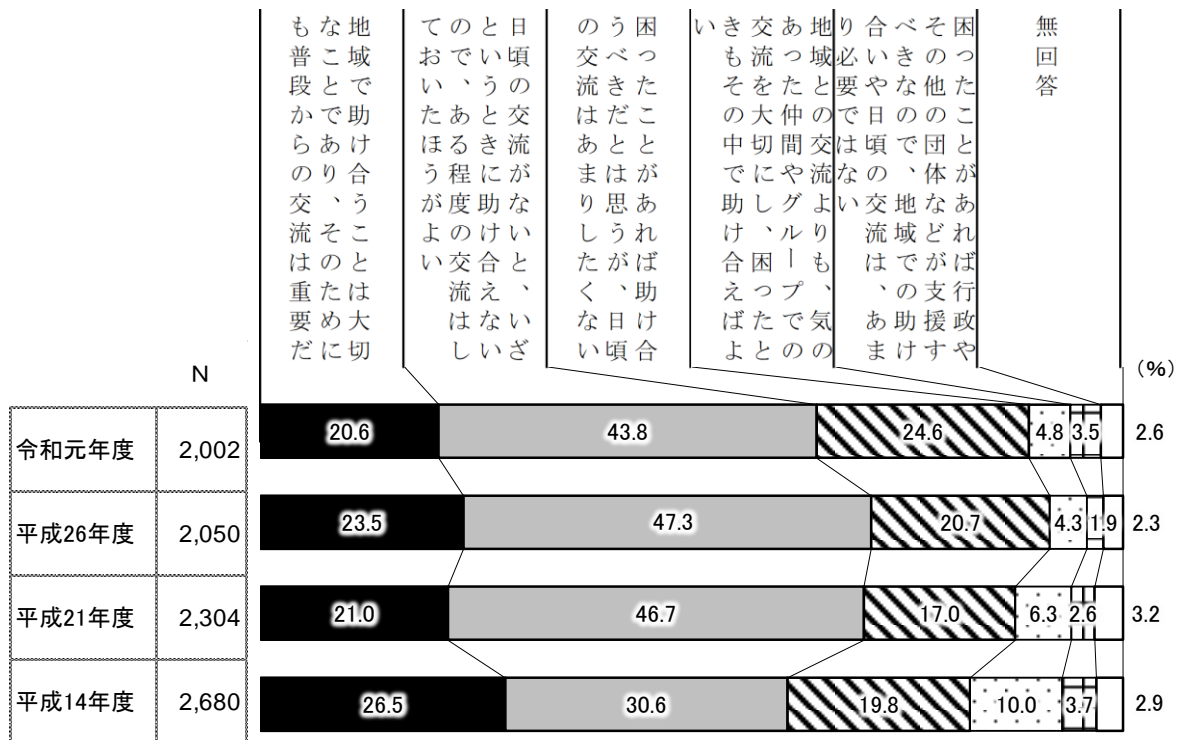


(14) 地域住民同士の交流や助け合いについての考え

問 20. あなたは、近所付き合い、地域住民同士の交流や助け合いについて、どうお考えになりますか。あなたの気持ちに一番近いものを選んでください(○は1つだけ)

○「日頃の交流がないと、いざというときに助け合えないので、ある程度の交流はしておいたほうがよい」が43.8%と4割以上を占めて最も多い。以下、「困ったことがあれば助け合うべきだとは思いますが、日頃の交流はあまりしたくない」(24.6%)、「地域で助け合うことは大切なことであり、そのためにも普段からの交流は重要だ」(20.6%)がそれぞれ2割台となっている。

○経年比較でみると、「困ったことがあれば助け合うべきだとは思いますが、日頃の交流はあまりしたくない」が増加傾向にあり、平成26年度と比べると3.9ポイント増加している。

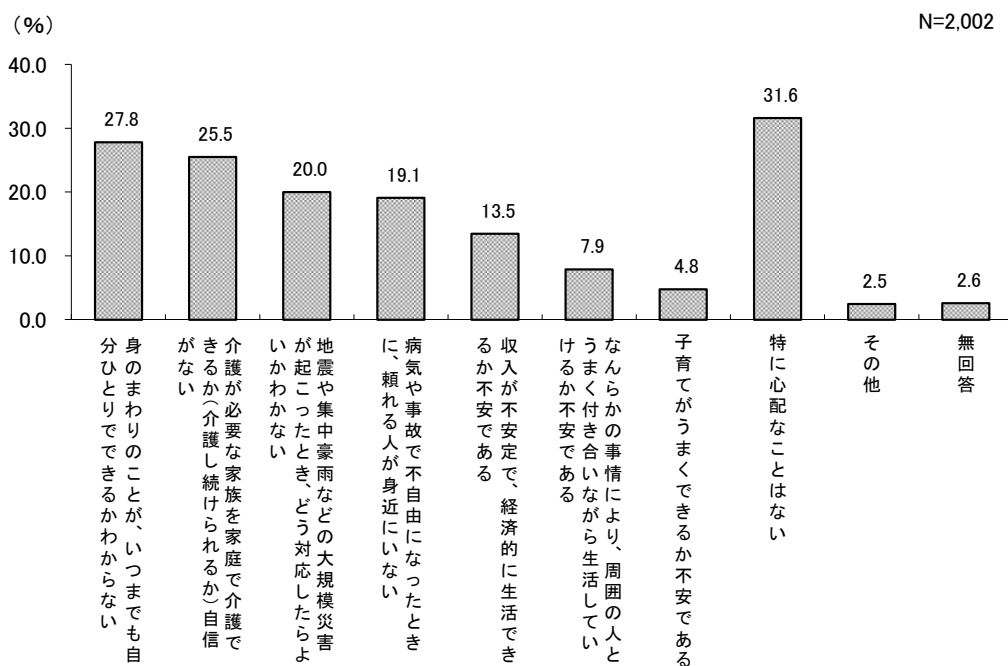


## 2 地域で生活していく上での心配事

### (1) 地域で生活していく上で、心配していること

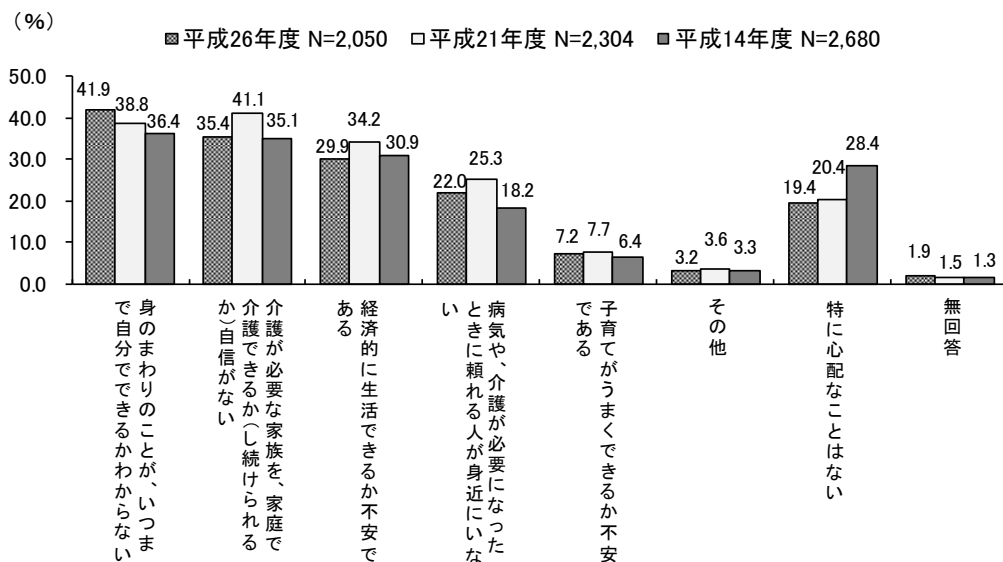
問 21. あなたが、現在お住まいの地域で生活していく上で、心配していることはどんなことですか  
(〇はいくつでも)

○「特に心配なことはない」が31.6%と3割を超えて最も多い。地域で生活していく上での心配事は、「身のまわりのことが、いつまでも自分ひとりではできるかわからない」(27.8%)、「介護が必要な家族を家庭で介護できるか(介護し続けられるか)自信がない」(25.5%)、「地震や集中豪雨などの大規模災害が起こったとき、どう対応したらよいかかわからない」(20.0%)などが2割台となっている。



#### 参考：平成26年度調査等

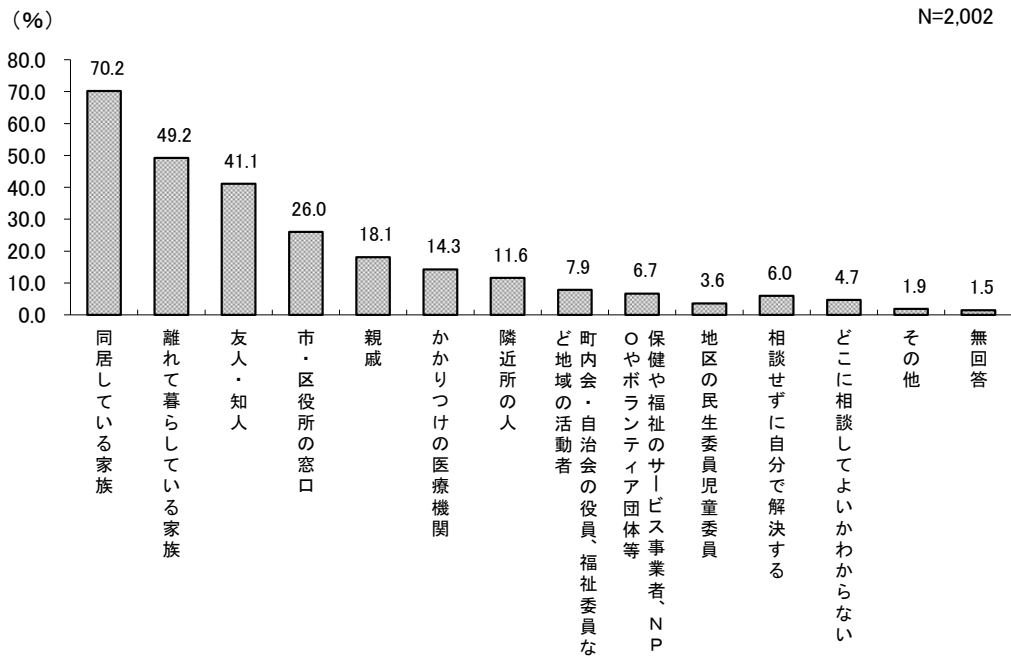
平成26年度、平成21年度、平成14年度も同様の設問を設けたが、選択肢が異なるため、参考値となる。



(2) 心配事が起きた場合の相談相手

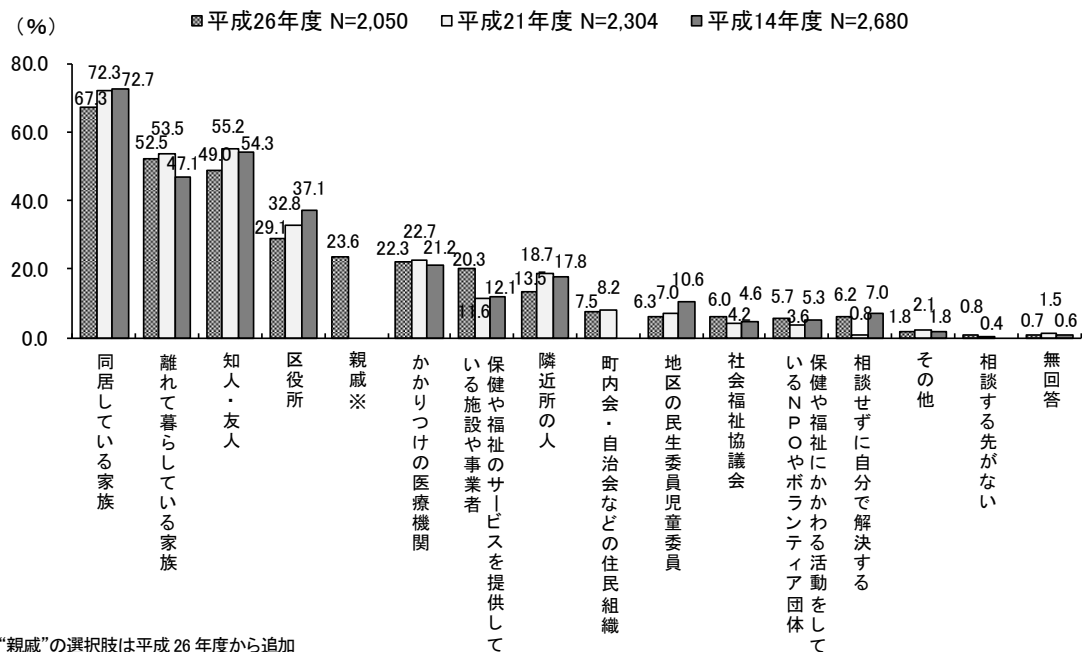
問 22. あなたが、現在お住まいの地域で生活していく上で、心配なことが起こったとき、だれに相談しますか(〇はいくつでも)

○心配事が起きた場合の相談相手については、「同居している家族」が70.2%と7割以上の方が挙げ最も多く、次に、「離れて暮らしている家族」(49.2%)、「友人・知人」(41.1%)がそれぞれ4割台で続いている。



参考：平成26年度調査等

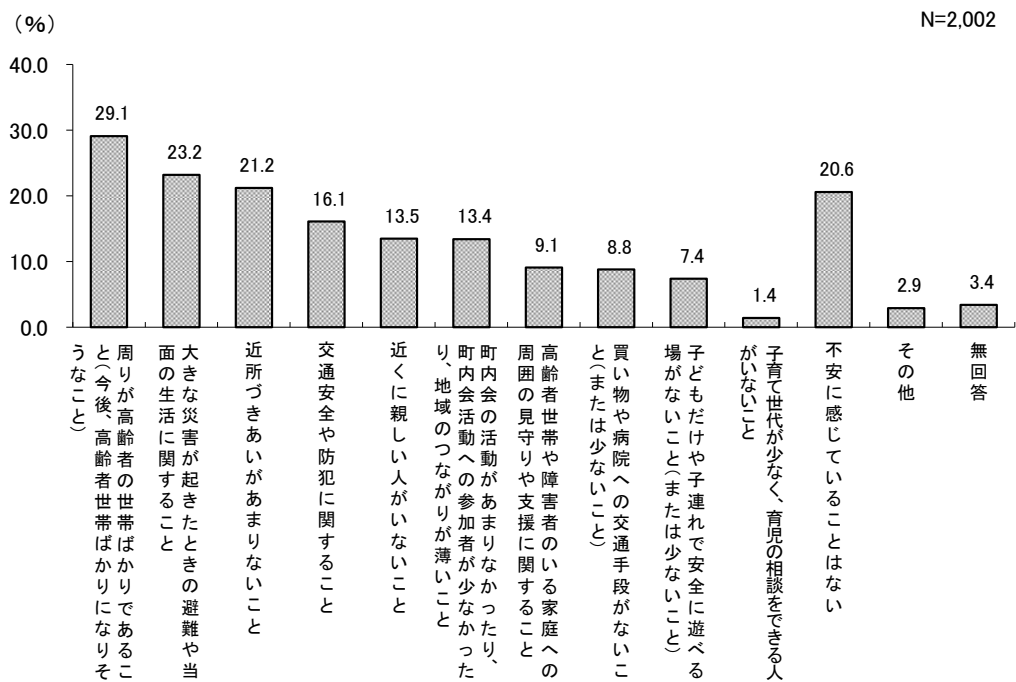
平成26年度、平成21年度、平成14年度も同様の設問を設けたが、選択肢が異なるため、参考値となる。



## (3) 地域における課題認識

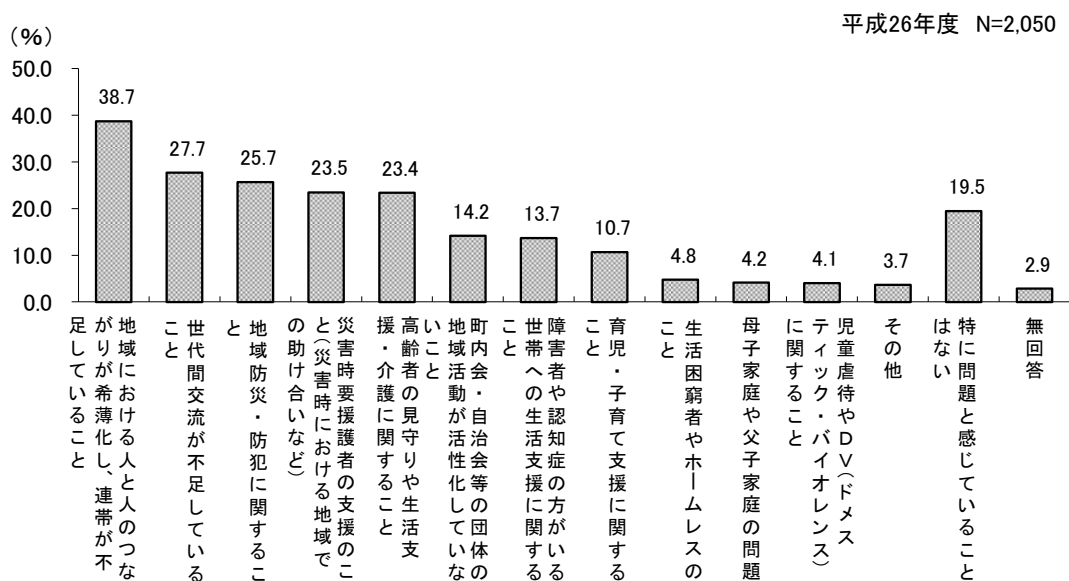
問 23. 現在あなたがお住まいの地域では、安心して生活していく上で、どのような問題や課題があると感じていますか（〇はいくつでも）

○「周りが高齢者の世帯ばかりであること（今後、高齢者世帯ばかりになりそうなこと）」が29.1%と約3割に達し最も多く、以下、「大きな災害が起きたときの避難や当面の生活に関すること」（23.2%）、「近所づきあいがあまりないこと」（21.2%）がそれぞれ2割台で続いている。一方、「不安に感じていることはない」も2割を超えている。



## 参考：平成26年度調査

平成26年度も同様の設問を設けたが、選択肢が異なるため、参考値となる。



## (4) 最近の地域福祉に関するニュースで最も関心のあること

問 24. 最近の地域福祉に関するニュースで最も関心のあることはなんですか(○は1つだけ)

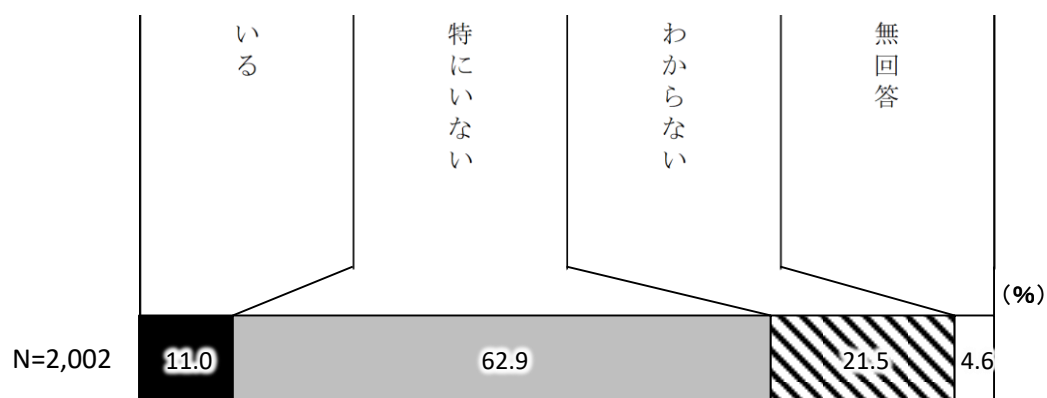
- 「老老介護（介護が必要な高齢者を高齢の子や配偶者が介護すること）」が 36.7%と3割以上を占めている。以下、「子どもや高齢者等への虐待」が 15.7%、「若者から中高年のひきこもり」が 8.8%、「8050問題（80歳代の高齢者と働いていない50歳代の子が同居している世帯の問題）」が 8.6%などとなっている。



## (5) ご自身の家族や親族以外で、地域で気がかりな方

問 25. あなたはご自身の家族や親族以外で、地域に気がかりな方はいますか(○は1つだけ)

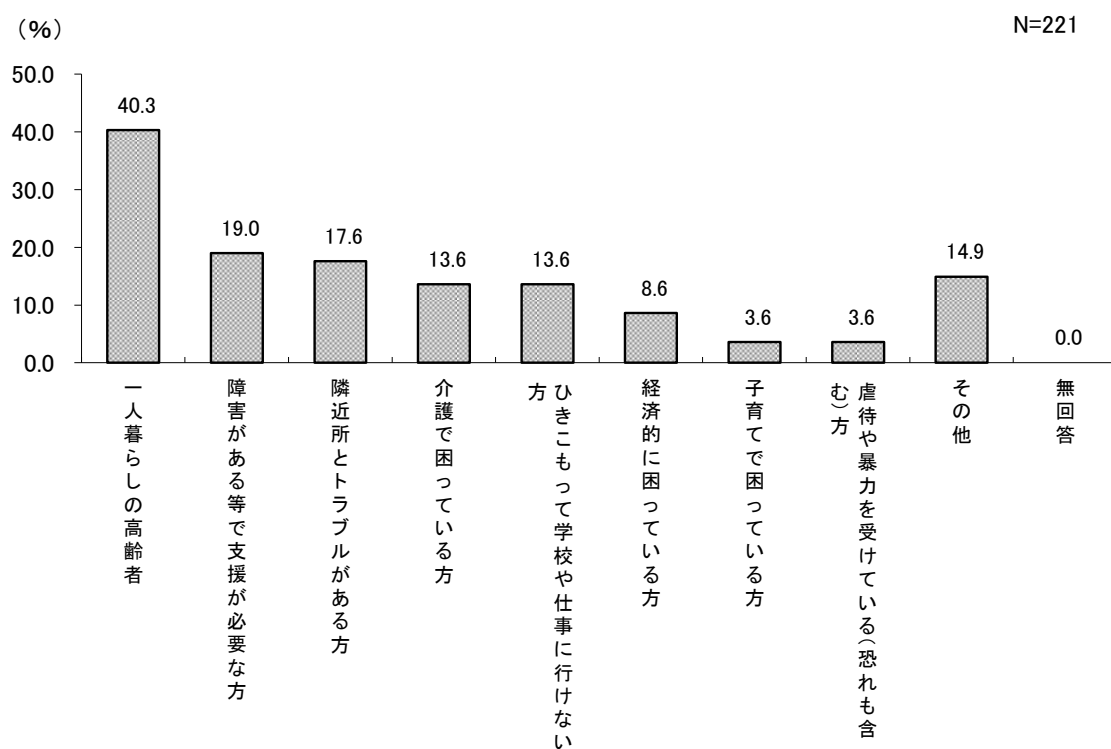
○「いる」は 11.0%と約1割となっている。一方、「特にいない」が 62.9%、「わからない」が 21.5%となっている。



## (6) 気がかりな方について

問 26. 問 25 で「1. いる」を選んだ方に伺います。気がかりなのは、どのような方ですか  
(〇はいくつでも)

- 「一人暮らしの高齢者」が 40.3%と 4 割を超えて最も多い。以下、「障害がある等で支援が必要な方」(19.0%)、「隣近所とトラブルがある方」(17.6%)、「介護で困っている方」(13.6%)、「ひきこもって学校や仕事に行けない方」(13.6%)が続いている。

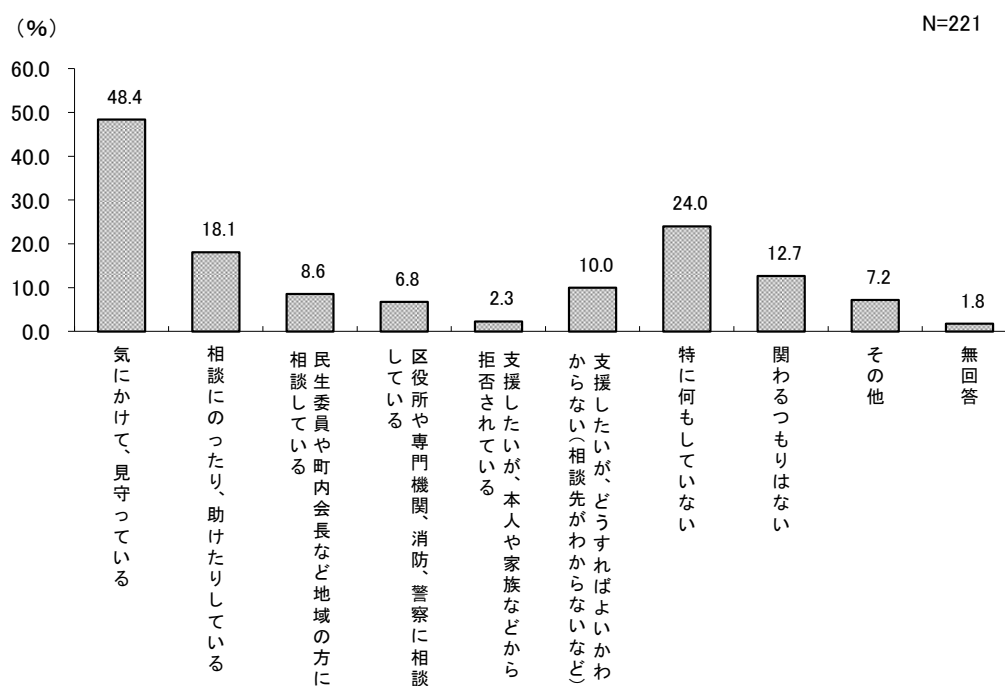




## (7) その方に対してしていること、または何かしたこと

問27. 問25で「1. いる」を選んだ方に伺います。その方に対してあなたは何かしていること、または何かしたことはありますか（〇はいくつでも）

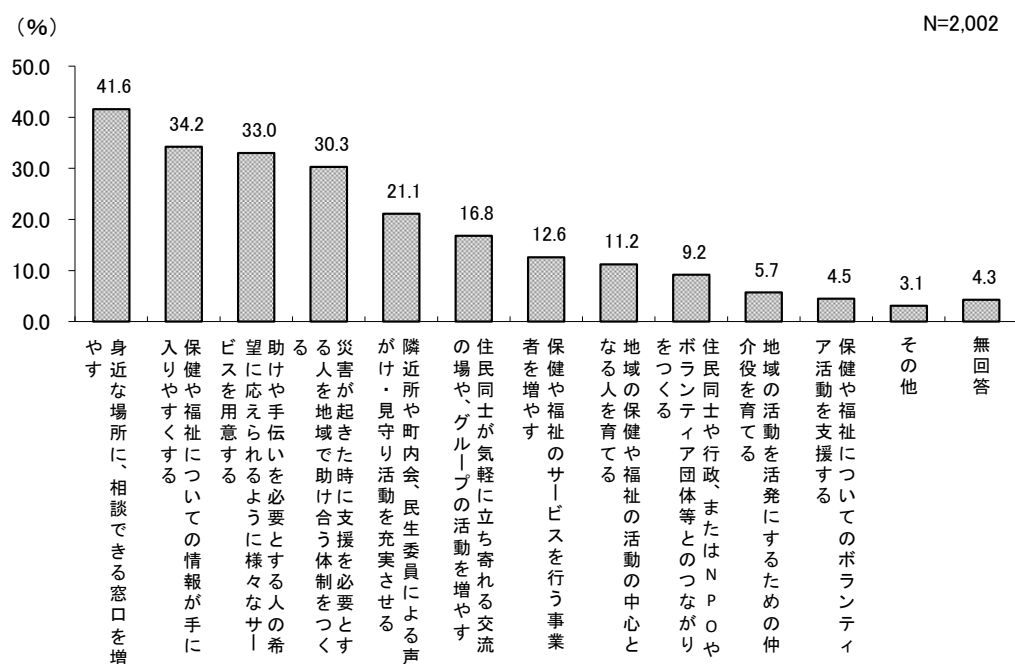
○「気にかけて、見守っている」が48.4%と約5割に達し最も多い。一方、「特に何もしていない」は24.0%、「関わるつもりはない」は12.7%となっている。



## (8) 安心して生活していくために、有効と思うこと

問 28. 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのような取り組みが有効だと思いますか。あなたの考えに特に近いものを選んでください (〇は3つまで)

- 「身近な場所に、相談できる窓口を増やす」が41.6%と4割を超えて最も多く、以下、「保健や福祉についての情報が手に入りやすくする」(34.2%)、「助けや手伝いを必要とする人の希望に応えられるように様々なサービスを用意する」(33.0%)、「災害が起きた時に支援を必要とする人を地域で助け合う体制をつくる」(30.3%)がそれぞれ3割台で続いている。



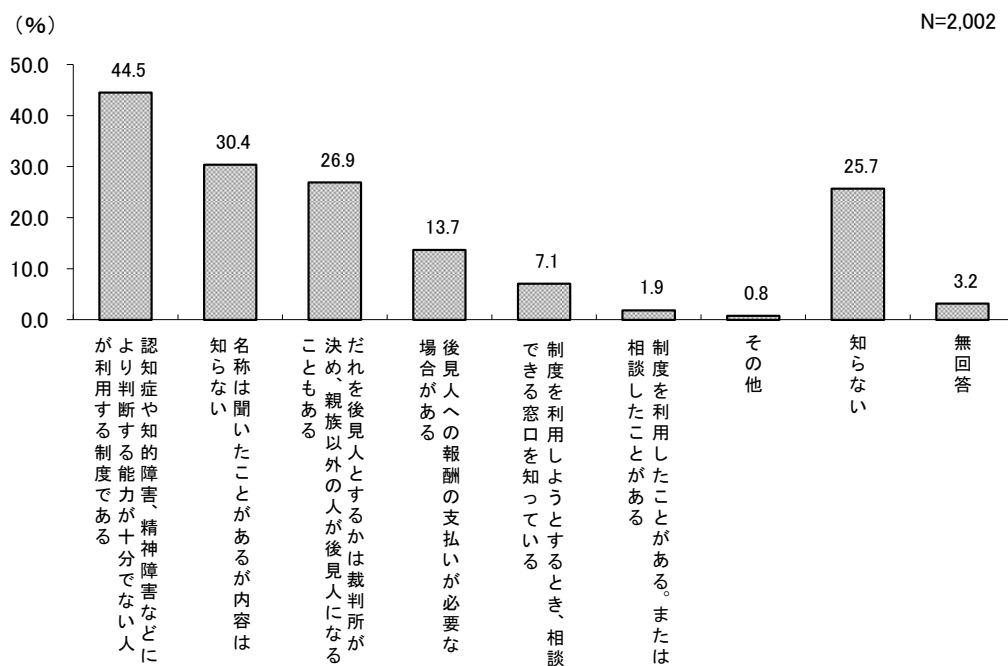
### 3 成年後見制度について

#### (1) 成年後見制度について知っていること

問 29. 成年後見制度についてご存知のことはありますか。知っていることすべてに○をつけてください(○はいくつでも)

○「認知症や知的障害、精神障害などにより判断する能力が十分でない人が利用する制度である」が44.5%と4割を超えて最も多く、以下、「名称は聞いたことがあるが内容は知らない」(30.4%)、「だれを後見人とするかは裁判所が決め、親族以外の人が後見人になることもある」(26.9%)が続いている。

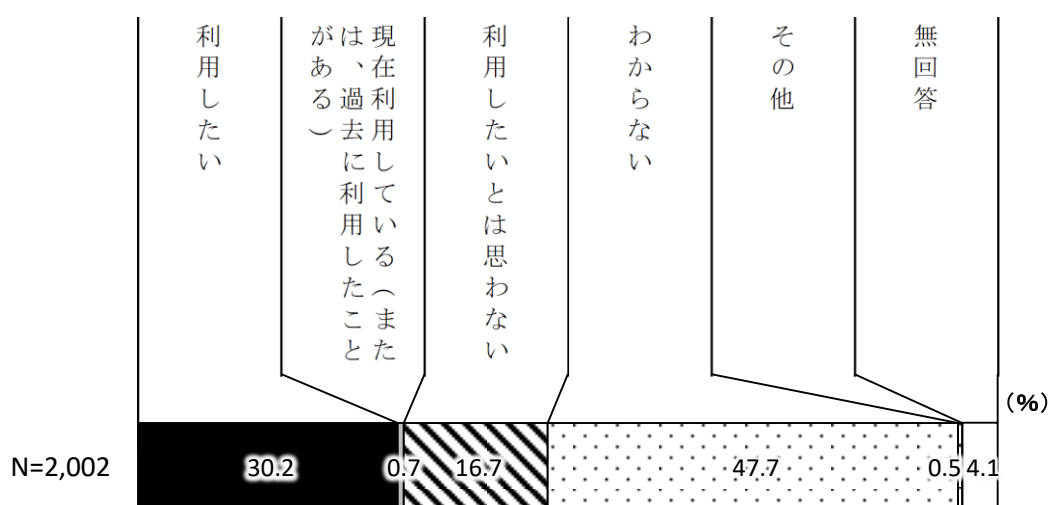
一方、「知らない」との回答は25.7%となっている。



## (2) 成年後見制度の利用意向

問 30. もし、あなたやあなたの家族が認知症などにより判断する力が衰えたとき、成年後見制度を利用したいといますか(○は1つだけ)

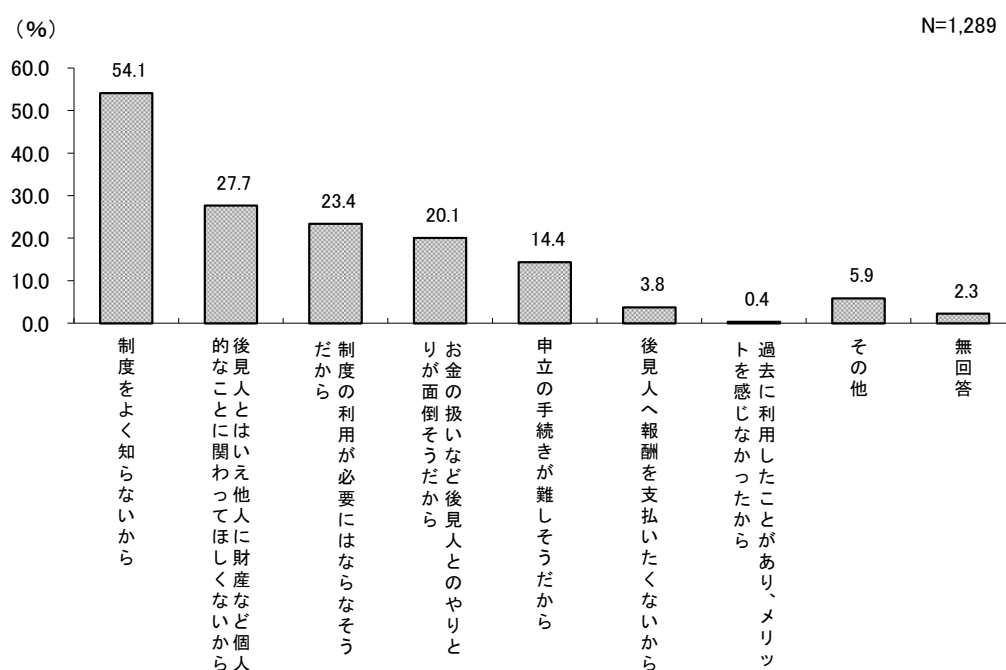
○「利用したい」が30.2%と3割を超え、「利用したいとは思わない」は16.7%となっている。一方、「わからない」が半数に迫り、最も多くなっている。



## (3) 成年後見制度を利用したいと思わない、または、わからない理由

問 31. 問 30 で「3. 利用したいと思わない」「4. わからない」を選んだ方に伺います。その理由はなんですか。あてはまるものすべてを選んでください(○はいくつでも)

- 「制度をよく知らないから」が 54.1%と 5 割を超えて最も多く、以下、「後見人とはいえ他人に財産など個人的なことに関わってほしくないから」(27.7%)、「制度の利用が必要にはならなそうだから」(23.4%)、「お金の扱いなど後見人とのやりとりが面倒そうだから」(20.1%) がそれぞれ 2 割台で続いている。

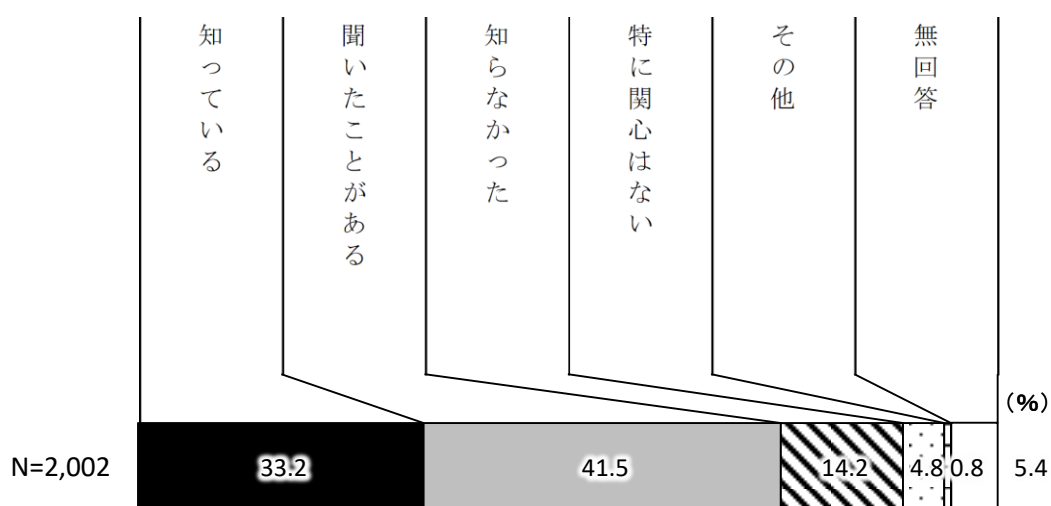


## 4 犯罪をした人の立ち直りの支援

### (1) 出所後の生活のしづらさにより再犯に至る人がいることの認知度

問 32. 犯罪や非行を繰り返す人の中には、刑務所などを出ても住居を借りられなかったり、職に就けなかったり、あるいは自分一人では生活するのが難しく、生活に困っている人がいることを知っていますか(○は1つだけ)

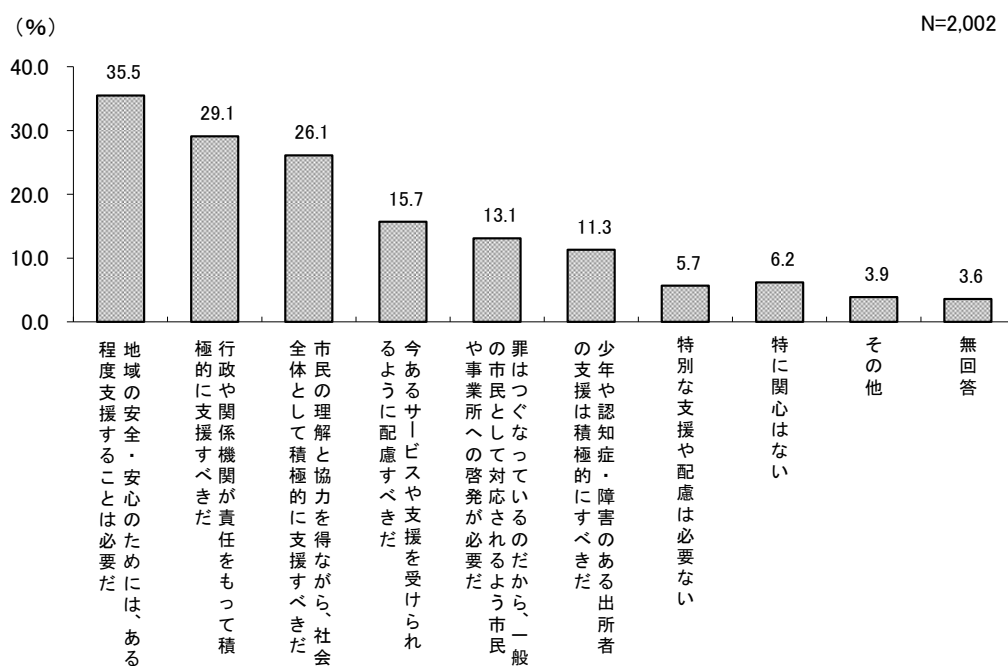
○「聞いたことがある」が 41.5%と最も多く、4 割強を占めている。次に、「知っている」が 33.2%、「知らなかった」が 14.2%と続いている。



## (2) 刑務所や少年院を出た人の社会復帰支援についてのあなたの考え

問 33. 刑務所や少年院を出た人が円滑に社会復帰できるよう支援することについてどう思いますか。  
あなたの考えに特に近いものを選んでください(○は2つまで)

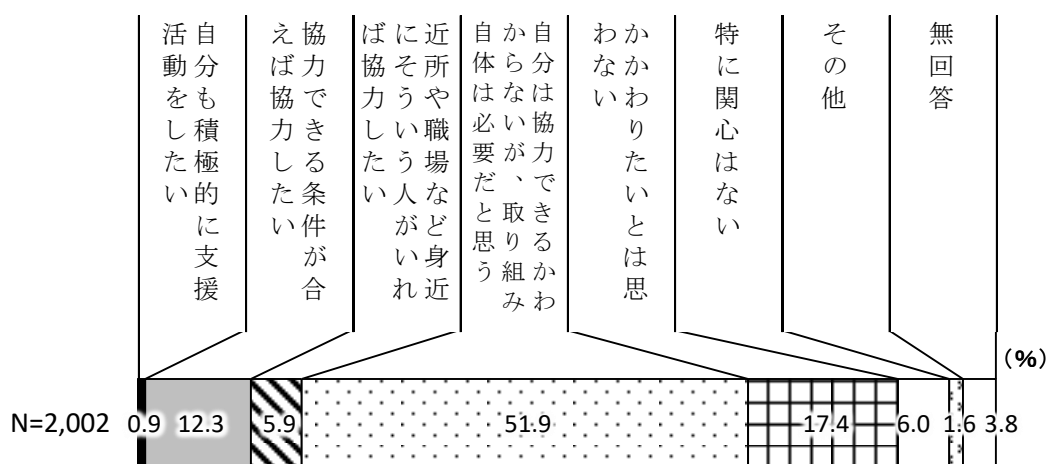
- 「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」が 35.5%と 3 割を超えて最も多く、以下、「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」(29.1%)、「市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ」(26.1%) がそれぞれ 2 割台で続いている。



(3) 刑務所や少年院を出た人の社会復帰支援についてのあなたのかかわり方

問 34. 刑務所や少年院を出た人の円滑な社会復帰への支援について、あなた自身がかかわることについてどう思いますか(○は1つだけ)

○「自分は協力できるかわからないが、取り組み自体は必要だと思う」が51.9%と5割強を占めている。以下、「かかわりたいとは思わない」が17.4%、「協力できる条件が合えば協力したい」が12.3%と続いている。





## 5 市の福祉施策全般に関して、また地域の福祉活動等に関して感じていること

問 35 市の福祉施策全般に関して、また地域の福祉活動等に関して感じていることなど、ご意見をご自由にお書きください。

○市の福祉施策全般に関して、また地域の福祉活動等に関して感じていることについての自由意見を取りまとめたところ、448 名から、611 件の意見を得た。意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。

分類	意見数計
<b>総意見数</b>	<b>611</b>
1 保健福祉(高齢・障害)・医療機関の充実	91
2 福祉の相談窓口について	82
3 広報・情報発信	74
4 地域住民とのつながりに関すること	71
5 地域で活動する団体に関すること	58
6 自身のこと・日常生活について	51
7 子育て支援・教育環境の充実	48
8 住環境等について	24
9 公共交通機関の充実	18
10 市民活動支援	17
11 経済基盤の充実	11
12 災害時の支援の体制	7
13 その他	59

以下に主な意見を抜粋する。

※各意見の文末の（ ）内は、(性別・年齢)。

## ① 保健福祉(高齢・障害)・医療機関の充実

- ◆ 高齢化社会になって、地域の高齢者が利用できる福祉サービスの(有料でも)事業所を各地域に増やし若者の就業先にもなってほしい。(女性 60歳代)
- ◆ 高齢者の介護問題に不安を抱えています。自分の両親・義両親を含め、現状の情報・体験談をもっと知りたい。親の介護が必要になった時どうすればいいのか、どのようなサービス、支援があるのか全く分からない。(女性 40歳代)
- ◆ 障害者が学校を卒業後、社会の場でいきいきと生活できるよう就労支援をもっと充実(増やして)してほしい。(男性 10歳代)
- ◆ 最近特に1人暮らしの老人が多いのが気になります。孤独死などにつながらないように、行政の対応が必要な気がします。(男性 50歳代)

- ◆ 高齢化社会、独居世帯、犯罪をした人の立ち直りなど専門性が高い分野では、公費をかけたしっかりとした行政での対応が必要だと思います。経費をかけずに地域や町内単位に委ねられても興味本位となりどのように対応できるかが疑問です。(女性 50 歳代)

## ② 福祉の相談窓口について

- ◆ 行政への窓口相談について相談内容によっては個室でお願いしたい。特に介護に関してはプライバシーにも関わるケースが多いかと思われます。(女性 75 歳以上)
- ◆ 話を聞くだけの相談員では相談した意味がない。いろいろな方向性やアドバイスなど一緒に考えてくれる人を配置してもらいたい。(男性 75 歳以上)
- ◆ 窓口に出向く者は本当に困り果てて相談に行くので、もう少し親身に又、専門的知識のある方に対応していただけるとありがたいのですが。(女性 40 歳代)
- ◆ 困っている人はたくさんいると思います。でもどこに助けを求めたらいいのか、どんなサービスが利用できるのか分からないことばかりです。さらに高齢化が進み、高齢者が手続きするには非常に手間や時間がかかったり…それが面倒で、困りごとを我慢している人もいるのでは？と思います。(女性 30 歳代)

## ③ 広報・情報発信

- ◆ 協力してほしいことがあれば、回覧などで全ての人の目に触れるようにしていただければ、手を挙げてくれる人の可能性が広がると思う。(女性 50 歳代)
- ◆ そもそも市や自分の住んでいる地域でどのような取り組みがなされているのか知らないのもっと情報発信すべきだと思います。(女性 20 歳代)
- ◆ まだまだ分かりにくいことが多すぎる。窓口やウェブサイトの情報を整備すべき。(男性 50 歳代)
- ◆ 市政だよりなどで、ボランティア募集とか載せて下さると協力できることが分かりやすいのですが。(女性 40 歳代)

## ④ 地域住民とのつながりに関すること

- ◆ 老人が多い地域に引越して1年。どのように付き合ったらよいか分からない。(女性 30 歳代)
- ◆ 近所付き合いも、若い層の方とは非常に困難。これらの解決策は難しい。(男性 75 歳以上)
- ◆ 近所付き合いが全くない現状、今後何が起こるか分からないので不安です。何か自治体で活動があれば参加したいと思います。(女性 20 歳代)
- ◆ マンション住まいのためか、お隣が見えない日々です。今は年齢的に特に感ずることがないのですが、絶対に福祉サービス活動は必要と思っています。定年後、何かは…とは思っているのですが…。(女性 50 歳代)
- ◆ 一戸建てになってから、地域の住民層（高齢者が多い）が気になり始めました。地域のイベントもその影響で世代差をより一層強く感じます。地域の中で交流することの重要性は理解しているものの、参加しづらいと感じるのが正直なところです。世代差を軽減するような活動が増えると良いです。(男性 30 歳代)

## ⑤ 地域で活動する団体に関すること

- ◆ 一部の人だけが積極的に行っていて、実際私たちはどのような活動を行っていただいているのか分からない。地域での行事なども長年同じ役員の人たちが変わらず身内で行っているような感じで、引越してきたばかりの人や顔見知りが少ない人など参加しやすい状況ではないように思う。そこに会費などをあてられおもしろく感じていない人もいたので、その辺りを今一度見直してほしいと思う。(女性 30 歳代)
- ◆ 地域の活動は大切ですが、規模を大きくすると時間に余裕のある高齢者が参加することになり身体的な負担が大きいです。規模を小さくし短時間の活動にすることで、仕事をしている方も参加しやすくなると思います。(女性 40 歳代)
- ◆ 退職された少しでもお若い方々が、福祉活動に興味を持っていただきたいと思います。町内会で活動しているのは女性(70才代)が中心で男性の参加者が少ないのは気になります。(女性 60 歳代)

## ⑥ 自身のこと・日常生活について

- ◆ いろいろな活動に参加したいのですが、足腰が悪く歩くのがやっとなので残念に思っております。(女性 75 歳以上)
- ◆ 仕事が忙しく、地域の活動には参加できていない状況です。子供が成人になったら、もう少し関心を持って協力できればと思っています。(女性 50 歳代)
- ◆ 今現在、何の不自由もなく、楽しく自由に暮しているのですが、これから何年続いて行くか分かりませんが、元気に生きていきたいと思っています。(女性 70 歳代)

## ⑦ 子育て支援・教育環境の充実

- ◆ 子供が生まれてからでないと、知ることのできない学校や施設の情報などは、事前に状況を把握することが難しい。気軽に相談したり情報を入手することができる窓口を知りたい(なければ作ってほしい)。ママ世代も年齢にバラつきがある。自分と同じような境遇の家庭と(ママ友)情報を交換できるサロンなどがあると便利だと思う。(女性 40 歳代)
- ◆ 出産後、仕事に戻るための保育所や、産まれてまもない家庭への支援・声がけにもっと力を入れてほしい。(男性 30 歳代)
- ◆ 学童保育では、公園に隣接しているのに外遊びが禁止され、休日に公園で遊ぶ際にもボール遊び禁止でのびのび遊べない。また、学校も児童館も子どもの人数に対して狭すぎる。学校の休み時間に校庭や体育館を使える学年が決められており、遊びが限られている。子どもの肥満や運動不足、遊びがゲームに偏っていくのは親の責任もあるが、子育て政策にもあると思う。保育所の待機が減ったことは良いと思うが、入所して終わりとならないよう、保育の質の確保をお願いしたい。(男性 50 歳代)

## ⑧ 住環境等について

- ◆ 降雪時の雪かきや街路樹の手入れを優先して欲しい。子供やお年寄りが危険である。街路樹は歩道が狭くなるだけでなく、見通しも悪くなるので不安。(男性 50 歳代)
- ◆ 隣人の空き家の植木、雑草が伸び放題で困ってます。空き家の見回りを強化してほしいと思います。(女性 70 歳代)

## ⑨ 公共交通機関の充実

- ◆ 集まりや講習会などを区役所でおこなうことが多いのですが、小さい子供連れや足の悪い老人がバスやタクシーで行くのはとても大変。できれば町内の集会所や児童館などでやって頂くと参加しやすいです。全ての家庭が自由に動ける状態ではないので。(女性 40歳代)
- ◆ 敬老乗車証の交付は、低所得の老人にとって、とても有難い制度で、いつも感謝し乗車しています。この制度が無ければ、ひきこもり老人になっていたかもしれません。(男性 75歳以上)
- ◆ 地下鉄東西線が出来たために、路線バスの本数が減らされて困っているという人がいました。お年寄りなど、車がないかたは、バスが生活の中でも大事な足になっている人も多いと思います。事故を減らすためにも高齢者の自動車免許返納をうながしつつ、返納した後に生活に困らないための交通の支援が必要ないように感じます。(女性 30歳代)

## ⑩ 市民活動支援

- ◆ 現役で働いているとなかなか参加できない。取り組んでいるあなたたちも同じだと思う。自分たちの住まいの地域活動にどれだけ、参加していますか？多分、ほとんど参加していないでしょう。こういう現実が問題だと思います。現役の若い世代の参加をどうするか？永遠のテーマです。うまい方法をおしえて下さい。(男性 60歳代)
- ◆ 困ったときに、一時的な助け合いは容易にできるが、定期的、継続的な支援は行政が工夫する必要がある。当然、行政だけでは限界があることは理解できるが、これまでの高齢者頼みの施策では住民意識は変化しないと思う。(男性 40歳代)

## ⑪ 経済基盤の充実

- ◆ 年金から所得税、住民税、介護保険料、国民健康保険料が天引きされている。徴収を確実にするためだと思うが、可処分所得があまりに少なくなる。将来現役者の50%程度の年金額になるとの予想だが、上記の天引き分を考えれば、生活は非常に苦しいものとなる。70代、80代になっても健康的に働ける者は社会に出て働けるような、社会を作っていく必要がある。外国人労働者も多数入ってきているが、高齢者でも日本語は読み書きできるのだから、企業で使って欲しい。(男性 60歳代)
- ◆ ひきこもり、8050問題は、今後重大な課題となると思う。親が亡くなり、経済的基盤を彼らが失ってしまった時どうなるのか？結局、基本的人権の原則にのっとり、生活保護という形で終生、保護していかなければならないのではないかな。そうならないためにも、早急になんらかの方策をとっていかねばならないと思う。彼らに少しずつでも社会的な接触を促しつつ、社会的にも各人や事業所にも理解と協力を得なくてはならないのではないと思う。(女性 70歳代)

## ⑫ 災害時の支援の体制

- ◆ 最近では町内会活動を行っているところが少ないという話を聞くが、3.11やその他の災害の点からみても隣近所の声掛けがいかにか大事かを知らされた。(女性 50歳代)
- ◆ この地域は、旧市営住宅から住んでいらっしゃる方々、新しく入居された方々、一部は仮設からの方々もいらっしゃる時きました。古くからいらっしゃる方々と、新しい方々に壁を感じるがあります。子供会つながりや古くからのつながり以外の住民はほとんど交流がありません。8年前の災害時より住民数も増えてますし、災害援護の必要な方も増えている中で、障害者や高齢者への援護対策は十分なのではないでしょうか？(女性 50歳代)

## ⑬ その他

- ◆ 社会全体が不寛容なムードに包まれているような気がしている。増える高齢者、外国人労働者にも理解を深めて、生活しやすい社会を築けるように私自身も努力したい。(男性 40歳代)
- ◆ 福祉活動を隣人に任せることは、最近の希薄な近所づきあいでは難しいと思う。サービス(事業所等の)としての提供のほうが、お互いに割り切って頼みやすいように思う。(女性 30歳代)
- ◆ 本当に必要な人が支援が受けられるとよい。権利の主張ではなく義務(納税)を果たすことも大切。一度恩恵を受けると、それが無いと不満が積もっていく。自分から前向きに進んでいくことを支援していくことが大切です。(女性 60歳代)

